

岡崎市文化財保存活用地域計画 資料編

岡崎市

目 次

第1章 計画作成に向けて	2
1 作成体制	2
2 作成過程	3
3 文化財の指定及び登録の状況	4
 第2章 計画作成に向けた把握調査	16
1 把握調査の手法	16
2 既往調査整理、歴史文化資産把握調査	16
3 歴史的建造物等悉皆調査	31
4 市民・学区・所有者・団体アンケート・ヒアリング調査	40

第1章 計画作成に向けて

1 作成体制

計画の作成にあたっては、法定協議会であり、本市文化財保護審議会委員及び学識経験者、関係団体等からなる「岡崎市文化財保存活用地域計画協議会」及び庁内関係各課からなる「岡崎市文化財保存活用地域計画作成検討部会」における協議を経て本市文化財行政の現状と課題を分析し、事業の検討を行いました。

岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)第 183 条の 9 第 1 項の規定に基づき、岡崎市文化財保存活用地域計画の作成及び変更に関する協議並びに実施に係る連絡調整を行うため、「岡崎市文化財保存活用地域計画協議会」を令和元年 12 月 16 日に設置しました。

区分	氏 名		所属団体等	専門等
学識経験者	○	加藤 安信	岡崎市文化財保護審議会会長	考古
		島津 達雄	岡崎市景観審議会委員（税理士・行政書士）	景観
	◎	瀬口 哲夫	岡崎市歴史まちづくり協議会会長 （名古屋市立大学名誉教授）	建築
		野本 欽也	岡崎市文化財保護審議会会長職務代理者	民俗
		三浦 正幸	岡崎城跡整備委員会委員（広島大学名誉教授）	古建築
関係団体	R 元	神尾 典彦	一般社団法人岡崎市観光協会事務局長	観光
	R 2	粂井 泰晴		
		河内 利弘	愛知県建築士事務所協会岡崎支部直前支部長 一般社団法人まちづくりマイスター代表理事	建築
	R 元	河原 一夫	特定非営利活動法人滝山寺地区文化財を修復・ 整備する会理事	文化財 関係団体
	R 2	氏原 久元		
		早川 久右衛門	岡崎商工会議所副会頭	商工
		深田 賢之	特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた チームリーダー	まちづくり
行政機関	R 元	高橋 亮太	愛知県教育委員会生涯学習課文化財保護室長	県
	R 2	川口 佐織	愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室長	
	R 元	河内 佳子	岡崎市社会文化部長	市
	R 2	手嶋 俊明		
		植山 論	岡崎市経済振興部長	市
	R 元	粂井 泰晴	岡崎市都市整備部長	市
	R 2	杉山 弘朗		
		小野 鋼二	岡崎市教育委員会教育部長	市

◎：会長 ○：副会長

岡崎市文化財保存活用地域計画作成検討部会

計画の作成に向けた課題の整理、施策・事業の検討を目的に、令和元年12月19日に「岡崎市文化財保存活用地域計画作成検討部会」を設置しました。

区分	所属・役職	
部会長	教育委員会事務局 社会教育課長	
副部会長	都市整備部 まちづくりデザイン課長	
部会員	総合政策部 企画課長	美術博物館 館長（令和元年度は副館長）
	環境部 環境政策課長	経済振興部 商工労政課長
	経済振興部 観光推進課長	都市整備部 公園緑地課長

2 作成過程

岡崎市文化財保存活用地域計画協議会

回	開催日	開催場所	備考
第1回	令和元年12月16日（月）	岡崎市役所東庁舎2階大会議室	
第2回	令和2年3月25日（水）		資料送付のみ
第3回	令和2年6月26日（金）	岡崎市役所分館2階202号室	
第4回	令和2年9月23日（水）	岡崎市役所東庁舎2階大会議室	
第5回	令和2年12月23日（水）	岡崎市役所東庁舎6階601号室	
第6回	令和3年3月24日（水）	岡崎市役所分館3階大会議室	

※第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料送付のみとしました。

岡崎市文化財保存活用地域計画作成検討部会

回	開催日	開催場所	備考
第1回	令和元年12月19日（木）	岡崎市役所東庁舎5階501号室	
第2回	令和2年3月17日（火）		資料送付のみ
第3回	令和2年6月25日（木）		書面開催
第4回	令和2年9月18日（金）	岡崎市役所東庁舎5階502号室	
第5回	令和2年12月17日（木）	岡崎市役所西庁舎5階503号室	
第6回	令和3年3月17日（水）	岡崎市役所西庁舎7階702号室	

※第2回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料送付のみしました。また、第3回は、対面による会議を避け、書面で会議を開催しました。

3 文化財の指定及び登録の状況

国指定文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	滝山寺三門	文永 4 年(1267)	滝山寺	滝町	M34.3.27
	妙源寺柳堂(附 厨子及び須弥壇、棟札)	正和 3 年(1314)	妙源寺	大和町	M36.4.15
	信光明寺観音堂(附 棟札)	文明 10 年(1478)	信光明寺	岩津町(棟札は岡崎市美術博物館)	M37.2.18
	大樹寺多宝塔(附 棟札)	天文 4 年(1535)	大樹寺	鴨田町	M37.2.18
	滝山寺本堂	室町前期	滝山寺	滝町	M37.2.18
	天恩寺仏殿	室町前期	天恩寺	片寄町	M40.5.27
	天恩寺山門	室町後期	天恩寺	片寄町	M40.5.27
	八幡宮本殿	室町後期	上地八幡宮	上地町	T15.4.19
	八幡宮本殿(附 棟札)	元和 5 年(1619)	土呂八幡宮	福岡町	S6.1.19
	伊賀八幡宮本殿、幣殿、拝殿、透塀、御供所、隨身門、神橋、鳥居(附 宮殿、棟札)	寛永 13 年(1636)	伊賀八幡宮	伊賀町	S8.1.23
	六所神社本殿、幣殿、拝殿、神供所、楼門(附 厨子、棟札)	寛永 13 年(1636)(本殿) 貞享 5 年(1688)(楼門)	六所神社	明大寺町	S10.5.13
	滝山東照宮本殿、幣殿、拝殿、中門、鳥居、水屋(附 厨子、石欄、棟札、銅燈籠)	正保 3 年(1646)	滝山東照宮	滝町	S28.11.14
	旧額田郡公会堂及物産陳列所(附 門柱、棟札、銘札)	大正 2 年(1913 年)	岡崎市	朝日町	H11.12.1
絵画	絹本着色善光寺如来絵伝	室町前期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本着色法然上人絵伝	室町中期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本着色親鸞上人絵伝	室町中期	妙源寺	大和町	T7.4.8
	絹本墨画淡彩如意輪観音図	鎌倉	大樹寺	岡崎市美術博物館	S29.3.20
	大方丈障壁画岡田為恭筆	安政 4 年(1857)	大樹寺	鴨田町	S29.3.20
	絹本着色光明本尊	鎌倉	妙源寺	大和町	H26.8.21
彫刻	木造慈恵大師坐像	文永 11 年(1274)	真福寺	真福寺町	S16.11.6
	木造観音菩薩・梵天・帝釈天立像	鎌倉	滝山寺	滝町	S56.6.9
	木造兜跋毘沙門天立像	平安	庚申講	鹿勝川町	H14.6.26
工芸品	太刀 銘正恒 附 糸巻太刀拵	鎌倉 正保 3 年(1646)家綱寄進	滝山東照宮	岡崎市美術博物館	T3.4.17
	太刀 銘長光 附 糸巻太刀拵	鎌倉 正保 3 年(1646)将軍家光寄進	滝山東照宮	岡崎市美術博物館	T3.4.17

工芸品	鉦鼓用引架	室町	昌光律寺	伊賀町	S37.6.21
書・繪・古書	色紙阿弥陀經	平安後期	満性寺	菅生町	H16.6.8
史跡	北野麁寺跡	飛鳥後期	岡崎市	北野町	S4.12.17
	大平一里塚	慶長 9 年(1604)	岡崎市	大平町	S12.12.21
	真宮遺跡	縄文晩期～平安	岡崎市	六名 1 丁目 真宮町	S51.6.7
天然記念物	岡崎ゲンジボタル発生地	－	愛知県・岡崎市	須淵町 他	S10.12.24

県指定文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	大樹寺伽藍(三門、総門、裏二門、鐘楼、大方丈)	総門・裏二門 寛永 15 年(1638) 三門及び鐘楼 寛永 18 年(1641) 大方丈 安政 4 年(1857)再建	大樹寺	鴨田町	S30.6.6
	淇菴庵並水屋	正保年間(宗徧茶室)	明願寺	伊賀町	S54.6.13
絵画	絹本着色山越阿弥陀如来像	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	絹本着色当麻曼荼羅絵	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	絹本着色二十五菩薩来迎図	鎌倉	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S30.6.6
	僧月僊作品群	江戸	昌光律寺	伊賀町	S30.6.6
	絹本着色善光寺如来絵伝	室町	満性寺	菅生町	S32.1.12
	絹本着色法然上人絵伝	室町中期	満性寺	菅生町	S32.1.12
	絹本着色持鉢釈迦如来画像	中国明代	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S32.9.6
	絹本着色太子講讃孝養の図	室町初中期	満性寺	菅生町	S32.9.6
彫刻	木造狛犬	鎌倉末～室町初期	滝山寺	滝町	S32.1.12
	木造南無仏太子像	鎌倉後期	満性寺	菅生町	S33.3.29
	木造阿弥陀如来坐像	鎌倉後期	土呂八幡宮	福岡町	S37.3.10
	塑像仏頭	奈良	真福寺	真福寺町	S58.3.7
	木造阿弥陀如来坐像	平安末期	大樹寺	鴨田町	S59.2.27
	木造勢誉上人坐像	明応 6 年(1497)	大樹寺	鴨田町	S59.2.27
	木造阿弥陀如来坐像	鎌倉初期	称名寺	藤川町	H26.8.1
	木造毘沙門天立像	平安後期	滝山寺	滝町	R2.2.7
工芸品	大身の鎧	室町初期	個人	岡崎城	S30.6.6
	錫杖	鎌倉及び室町	滝山寺	滝町	S33.3.29
	孔雀文磬	明応 4 年(1495)	滝山寺	滝町	S33.3.29

工芸品	根来塗仏子	安土桃山	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.3.29
	藍染織衣陣羽織	室町～安土桃山	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	白麻二十五条袈裟	慶長8年(1603)	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	唐絹萌黄七条甲袈裟	江戸初期	萬松寺	岡崎市 美術博物館	S33.6.21
	磬（大治二年在銘）	大治2年(1127)	桜井寺	岡崎市 美術博物館	S35.6.2
	木造菩薩面(附4点)	鎌倉	滝山寺	滝町	S60.7.12
	銅鉦鼓（附：鉦架）	室町	信光明寺	岩津町	H30.8.24
	蒔絵曲祿	安土桃山	滝山寺	滝町	R2.2.7
書・文・図	大樹寺文書	中世～近世	大樹寺	岡崎市 美術博物館	S59.3.30
考古資料	岩津第1号古墳出土品	6世紀後半	岡崎市	岡崎市 美術博物館	S42.3.17
	洞(伝)の銅鐸	弥生	法蔵寺	岡崎市 美術博物館	S49.7.3
有形民俗 文化財	大川神明宮の舞台	明治15年(1882)	大川神明宮	大高味町	S51.11.1
	万足平の猪垣	江戸後期	万足平を考える会	中金町	S56.2.23
無形民俗 文化財	滝山寺鬼祭り	正保4年(1647)復活	滝山寺鬼まつり保存会	滝町	S29.3.12
	千万町の神楽	宝暦元年(1751)	千万町神楽保存会	千万町町	S39.3.23
史跡	岩津第1号古墳	6世紀後半	岡崎市	岩津町	S42.3.17
	神明宮第1号古墳	6世紀後半	神明宮	丸山町	S50.12.26
	太夫塚古墳	古墳中期	個人	若松町	S50.12.26
天然記念物	寺野の大クス	—	寺野薬師堂	夏山町	S43.11.4
	切山の大スギ	—	皇太神社	切山町	S43.11.4
	北山湿地	—	岡崎市	池金町	H29.2.10
	下山小学校のヤマザクラ	—	岡崎市	保久町	R2.2.7
	藤川の松並木	—	愛知県・岡崎市	藤川町	R2.8.7

市指定文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	指定年月日
建造物	真福寺仁王門	明応 3 年(1494)再建	真福寺	真福寺町	S35.3.10
	切越八面塔	平安末期	切越町	切越町	S42.9.14
	足利尊氏石宝塔	延文 3 年(1358)	八剣神社	大門 3 丁目	S42.9.14
	久世平太夫石宝塔	天文 15 年(1546) 安永 8 年(1779)修造	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	酒井広親石宝塔	長禄 3 年(1459)	信光明寺	岩津町	S42.9.14
	大久保浄源石宝塔	天正 9 年(1581)	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	大久保忠員石宝塔	天正 10 年(1582) 宝暦 12 年(1762)修補	長福寺	竜泉寺町	S42.9.14
	諏訪神社石灯籠	天正 16 年(1588)	諏訪神社	梅園町	S42.9.14
	犬頭神社石鳥居	慶長 10 年(1605)	糟日犬頭神社	宮地町	S42.9.14
	弟也斎	天保の頃(龍溪茶室)	明願寺	伊賀町	S53.6.15
	明神型石鳥居	寛永 15 年(1638)	菅生神社	康生町	H23.3.22
	甲山寺本堂(護摩堂)(附 棟札)	元禄 15 年(1702)～元禄 16 年 (1703)再建	甲山寺	六供町	H17.12.20
	日吉山王社本殿	慶長 13 年(1608)(推定) 正保 2 年(1645)修築(推定)	滝山東照宮	滝町	H18.12.21
	大樹寺本堂	安政 4 年(1857)再建	大樹寺	鴨田町	H20.6.16
	大樹寺開山堂	江戸前期	大樹寺	鴨田町	H20.6.16
	伊賀八幡宮末社上総社社殿、牟久津社社殿	寛永 13 年(1636) (推定)	伊賀八幡宮	伊賀町	H23.3.23
絵画	絹本着色十六羅漢像	中国元代	松應寺	松本町	S35.3.10
	絹本着色善導大師像	鎌倉	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	絹本着色二十五菩薩来迎図	室町末期	勝鬘皇寺	保母町	S35.3.10
	絹本着色般若十六善神像	室町	宝福寺	梅園町	S35.3.10
	絹本着色三国高僧光明品	室町	満性寺	菅生町	S35.3.10
	絹本着色十三仏像	室町	専福寺	祐金町	S35.3.10
	絹本着色聖徳太子絵伝	室町	勝鬘皇寺	保母町	S35.3.10
	絹本着色来迎阿弥陀三尊仏像	室町	高隆寺	高隆寺	S35.3.10
	絹本着色山越阿弥陀如来像	室町	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	絹本着色二十五菩薩来迎図	室町	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	絹本着色渡唐天神像	室町	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	絹本着色松平清康像	安土桃山	随念寺	門前町	S35.3.10
	絹本着色釈迦涅槃像	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	紙本淡彩十六羅漢	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10

絵画	紙本着色倫誉上人像	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	絹本着色倫誉上人像	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	絹本着色張良黄石公像	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	絹本着色張飛・玄德・関羽像	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	紙本十二ヶ月絵巻	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	紙本淡彩反古画帖	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	紙本墨画淡彩百盲行旅図	江戸	随念寺	門前町	S35.3.10
	絹本着色三千仏像	室町	真福寺	真福寺町	S35.6.10
	絹本着色山越阿弥陀如来像	室町	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	絹本着色方便法身尊影	室町	西光寺	奥殿町	S35.6.10
	絹本着色雲中阿弥陀如来像	室町前期	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	絹本着色釈迦如来座像（付軸金具）	室町前期	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	絹本慈恵大師並侍者像	江戸初期	真福寺	真福寺町	S35.6.10
	絹本着色顕如上人像	安土桃山	安受寺	東大友町	S36.3.30
	絹本着色源空上人選拵付属御影	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	絹本着色当麻曼荼羅絵	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	絹本着色聖徳太子絵伝	室町	妙源寺	大和町	S36.3.30
	絹本着色阿弥陀如来十二光仏像	室町	暮戸教会	暮戸町	S36.3.30
	絹本着色蓮如上人像	室町	勝蓮寺	矢作町	S36.3.30
	絹本着色親鸞上人絵伝	室町末期	願照寺	舩越町	S36.3.30
	絹本着色證如上人像	室町	願照寺	舩越町	S36.3.30
	絹本着色親鸞上人三狹間御影	室町	願照寺	舩越町	S36.3.30
	曼荼羅仏絵図	室町	阿弥陀寺	桜形町	S45.1.10
	からうすの図	江戸	天恩寺	片寄町	S45.1.21
	蝦蟇・鉄拐仙人図	江戸	天恩寺	片寄町	S45.1.21
	絹本着色法然上人絵伝	鎌倉	浄珠院	上和田町	S47.7.5
	絹本着色当麻曼荼羅絵	鎌倉	萬福寺	田口町	S47.7.5
	絹本着色善導大師像	室町	正願寺	合歓木町	S47.7.5
	絹本着色鶴田卓池賛菅生風景画	江戸後期	岡崎市	－	S55.1.22
	絹本着色鶴田卓池自画像	江戸後期	岡崎市	－	S55.1.22
	絹本着色当麻曼荼羅	鎌倉	崇福寺	中島町	S62.7.15
	絹本着色十五図	室町	崇福寺	中島町	S62.7.15
	絹本着色芳春院妙西尼公像	安土桃山	本宗寺	美合町	S62.7.15
	板地着色三十六歌仙図扁額	江戸	滝山東照宮	滝町	S62.7.15

絵画	絹本着色徳川信康像	江戸	勝蓮寺	矢作町	S62.7.15
	絹本着色八相涅槃図	江戸	竜泉寺	中島町	S62.7.15
	那智参詣曼荼羅	安土末期～安土桃山	明星院	市場町	S63.117
	絹本着色勢誉上人像	室町	大樹寺	鴨田町	H2.3.22
	絹本着色聖徳太子六臣像	鎌倉末～室町初期	願照寺	舩越町	H9.1.31
	絹本着色十二天像	室町末期	甲山寺	六供町	H17.12.20
	絹本着色両界曼荼羅図	室町	甲山寺	六供町	H17.12.20
	絹本着色超誉上人像	室町	信光明寺	岩津町	H19.12.18
	絹本着色登誉上人像	室町	大樹寺	鴨田町	H19.12.18
彫刻	木造馬頭観世音菩薩立像	平安後期	実相寺	竜泉寺町	S35.3.10
	木造聖観音菩薩立像	平安末期	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	木造釈迦如来坐像	室町	安心院	明大寺	S35.3.10
	木造観世音菩薩立像	平安後期	清泰寺	富永町	S36.3.30
	木造金剛界大日如来坐像	平安後期	大日堂	西本郷町	S36.3.30
	木造聖観世音菩薩立像	平安後期	大日堂	西本郷町	S36.3.30
	木造定印阿弥陀如来坐像	平安後期	天徳院	筒針町	S36.3.30
	木造地藏菩薩坐像	鎌倉初期	善国寺	渡町	S36.3.30
	木造来迎阿弥陀如来立像	鎌倉	善国寺	渡町	S36.3.30
	木造孝養太子立像	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	木造親鸞上人坐像	室町	妙源寺	大和町	S36.3.30
	木造孝養太子立像	安土桃山	聖善寺	宇頭町	S36.3.30
	阿弥陀如来石像	室町	西光寺	鴨田町	S42.9.14
	犬頭神社石造唐猫	江戸	糟目犬頭神社	宮地町	S42.9.14
	犬頭神社石造狛犬	江戸	糟目犬頭神社	宮地町	S42.9.14
	延命地藏菩薩	鎌倉	広祥院	桜方町	S45.1.10
	木造来迎阿弥陀如来立像	平安後期	来迎院	上青野町	S47.7.5
	木造来迎阿弥陀如来坐像	平安後期	円跡寺	蓬生町	S47.7.5
	木造来迎阿弥陀如来立像	鎌倉	誓法寺	土井町	S47.7.5
	木造烏枢沙摩明王立像	室町	正蔵寺	岩戸町	S47.7.5
	木造仁王像	室町	真福寺	真福寺町	S49.1.11
	木造円空作 毘沙門天像・不動明王像	江戸	経津主神社	真伝町	S52.11.10
	塑像仏頭	奈良～鎌倉	真福寺	真福寺町	S52.11.10
	木造男神・女神像	平安後期	村積神社	奥山田町	S55.1.22
	木造仁王像	鎌倉末期	滝山寺	滝町	S57.9.8
	木造十一面観音菩薩立像	鎌倉	滝山寺	滝町	S59.2.10
	木造慈恵大師坐像	鎌倉後期	滝山寺	滝町	S59.2.10

彫刻	木造日光・月光菩薩立像	鎌倉	滝山寺	滝町	S59.2.10
	木造薬師如来坐像	平安	真如寺	鴨田町	S62.7.15
	木造阿弥陀如来立像	鎌倉	菩提院	鉢池町	S62.7.15
	銅造阿弥陀三尊立像（善光寺式）	鎌倉後期	成就院	吹矢町	S62.7.15
	木造地藏菩薩坐像	鎌倉末～室町初期	欣浄寺	本宿町	S62.7.15
	木造出山釈迦立像	室町初期	満性寺	菅生町	S62.7.15
	木造釈迦立像（附光背）	江戸	清涼寺	大幡町	S62.7.15
	木造神像（附薬師如来坐像）	鎌倉末～室町	八剣神社	大門3丁目	S62.7.15
	木造東照権現（徳川家康）坐像	江戸	大樹寺	鴨田町	H2.9.10
	木造十二天立像	江戸	甲山寺	六供町	H17.12.20
	木造大日如来坐像	平安後期	甲山寺	六供町	H17.12.20
	木造阿弥陀三尊像	鎌倉	円福寺	岩津町	H17.12.20
	木造善導大師坐像	室町	円福寺	岩津町	H17.12.20
	木造法然上人坐像	室町	円福寺	岩津町	H17.12.20
	木造十二神将立像	鎌倉	滝山寺	滝町	H18.12.21
	木造天台大師坐像	平安後期	滝山寺	滝町	H18.12.21
	木造不動明王坐像	平安後期	滝山寺	滝町	H18.12.21
	木造弁財天坐像	室町	滝山寺	滝町	H18.12.21
	木造地藏菩薩坐像・不動明王坐像・愛染明王坐像（附：地藏菩薩坐像内納入品一式）	室町前期	天恩寺	片寄町	H22.9.13
	木造隨身像（附：像内納入銘札1枚）	江戸	伊賀八幡宮	伊賀町	H23.3.23
	木造日吉山王社神坐像（附：台座5基）	鎌倉時代前半及び江戸	滝山東照宮	滝町	H27.8.27
工芸品	松平広忠使用床几	室町	松應寺	松本町	S35.3.10
	鎌倉彫大香合	室町	松應寺	松本町	S35.3.10
	松平広忠使用青貝鞍	安土桃山	松應寺	松本町	S35.3.10
	雲版	室町	随念寺	門前町	S35.3.10
	利剣名号御下帷子	室町	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	位牌	室町	長福寺	竜泉寺町	S35.3.10
	破魔弓	安土桃山	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	青磁花瓶	中国明代	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	雲版	室町	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	孔雀文磬	鎌倉初期	妙源寺	大和町	S36.3.30
	舍利厨子	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	瓦焼阿弥陀如来坐像	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	懸仏大日如来	室町	八幡宮	渡町	S36.3.30
	雲珠形松平親氏位牌	室町	光明寺	矢作町	S36.3.30

工芸品	瀬戸染付香炉	江戸後期	個人	西本郷町	S36.3.30
	鰐口	室町	高之御前神社	大代町	S45.1.10
	太刀	江戸初期	熱田神社	雨山町	S45.1.21
	鰐口	室町	高薄八幡宮	大高味町	S45.1.21
	熊毛兜	安土桃山	観音寺	下三ツ木町	S47.7.5
	位牌	室町	正蔵寺	岩戸町	S47.7.5
	乱舞面	室町	山中八幡宮	舞木町	S51.3.31
	亀甲文地銀貼膳	江戸初期	岡崎市	－	S57.7.26
	葵紋桐唐草文蒔絵什器	江戸初期	岡崎市	－	S57.7.26
	蔵王権現懸仏	鎌倉前期	明星院	市場町	S62.7.15
	懸仏	鎌倉	八剣神社	大門3丁目	S62.7.15
	梵鐘	南北朝	大樹寺	鴨田町	S62.7.15
	梵鐘	室町	法蔵寺	本宿町	S62.7.15
	鰐口	室町	真福寺	真福寺町	S62.7.15
	獅子牡丹文鎌倉彫香合	室町	勝蓮寺	矢作町	S62.7.15
	梔子文堆朱香合	中国元代	随念寺	門前町	S62.7.15
	秋草文平蒔絵提箱	安土桃山～江戸初期	松應寺	松本町	S62.7.15
	熱田神社の脇差	室町末期	熱田神社	雨山町	H2.7.6
	木造雲珠型袖附位牌	江戸	大樹寺	鴨田町	H2.9.5
	木造札型平頭位牌	江戸	大樹寺	鴨田町	H2.9.5
	黒漆嵌装舍利厨子	室町	大樹寺	鴨田町	H11.10.7
	刀 銘薬王寺 主真助 文亀二年八月日	室町	岡崎市	－	H13.5.7
	刀 銘薬王寺 助次	室町	岡崎市	－	H13.5.7
	鞍	鎌倉	滝山寺	滝町	H18.12.21
	孔雀文磬	鎌倉	信光明寺	岩津町	H18.12.21
	鰐口	室町	白髭神社	才栗町	H19.12.18
書・絵・文書	紺紙字法華經（開結共）	鎌倉	長福寺	竜泉寺町	S35.3.10
	観無量寿經四帖之疏	鎌倉	満性寺	菅生町	S35.3.10
	紙本墨書法華題目抄	鎌倉	円頓寺	久右エ門町	S35.3.10
	墨紙金泥梵字六字名号	室町	満性寺	菅生町	S35.3.10
	蓮如上人六字名号	室町	浄専寺	元能見町	S35.3.10
	絹本金字六字名号	安土桃山	随念寺	門前町	S35.3.10
	仮名書阿弥陀經	江戸	勝鬘寺	針崎町	S35.3.10
	紙本墨書真福寺勸進帳	室町	真福寺	真福寺町	S35.6.10

書・文・書	紙本墨書後柏原天皇綸旨	室町	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	紙本墨書後土御門天皇綸旨	室町	信光明寺	岩津町	S35.6.10
	写本称赞浄土仏撰受經	奈良	妙源寺	大和町	S36.3.30
	紙本墨書親鸞上人十字名号	鎌倉	妙源寺	大和町	S36.3.30
	版本選撰本願念仏集	室町末期	妙源寺	大和町	S36.3.30
	写本蓮如上人御文章	室町	正法寺	東本郷町	S36.3.30
	明版大蔵經	中国明代	暮戸教会	暮戸町	S36.3.30
	総持尼寺文書	鎌倉～室町前期	総持尼寺	中町	S49.1.11
	藤川宿駒曳朱印状	安土桃山	関山神社	藤川町	S53.10.21
	高階惟行・坂上惟伴連署田地寄進状	鎌倉	滝山寺	滝町	S63.11.7
	往生要集 卷上	鎌倉前期	西方寺	岩中町	H5.4.12
	親鸞聖人門侶交名牒	南北朝	妙源寺	大和町	H21.3.23
	妙源寺文書	南北朝～安土桃山	妙源寺	大和町	H21.3.23
考古資料	林福寺海獣葡萄鏡	中国唐代	林福寺	簗川町	S52.11.10
	亀山第2号古墳出土遺物	古墳工期	岡崎市	—	H5.4.12
歴史資料	松平蔵人佐元康制札	室町	法蔵寺	本宿町	S35.3.10
	藤川宿高札	江戸	関山神社	藤川町	S53.10.21
	鶴田卓池旅日記	江戸後期	個人	—	S55.1.22
	懷玉三河州地理図鑒版木	江戸中期	西方寺	—	H5.4.12
有形民俗 文化財	祭礼山車(1台)	江戸末期	矢作町3区	矢作町	S43.2.8
	祭礼山車(1台)	江戸末期	矢作町2区	矢作町	S48.3.23
	渭信寺絵馬群(95点)	明治～大正	渭信寺	上衣文町	H3.2.6
	八帖諏訪神社絵馬群(10点)	江戸中期～明治	諏訪神社	八帖町	H3.2.6
	六所神社絵馬群(83点)	室町後期～江戸	六所神社	明大寺町	H3.2.6
	矢作神社絵馬群(12点)	江戸～明治	矢作神社	矢作町	H3.2.6
	保久八幡宮舞台	明治27年(1894)改築	保久八幡宮	保久町	H17.9.16
無形民俗 文化財	大嘗祭悠紀斎田(田植唄、踊り、用具、装束一式)	大正4年(1915)	六ツ美悠紀斎田保存会・岡崎市	中島町	S41.3.10
	デンデンガッサリ	室町	デンデンガッサリ保存会	舞木町	S47.7.5
	須賀神社祭礼山車及び祭りばやし	江戸	須賀神社祭礼山車及び祭りばやし保存会	檜山町	S57.1.8
	夏山八幡宮火祭り	永禄元年(1558)	夏山八幡宮	夏山町	H17.9.16

無形民俗 文化財	堤通手永御田扇祭り	江戸中期	堤通手永御田扇 祭り保存会	岡崎市内 16 箇所※1	H27.6.30
	山方手永御田扇祭り	江戸中期	山方手永御田扇 祭り保存会	岡崎市内 12 箇所※2	H27.6.30
史跡	高隆寺跡	平安後期	個人	高隆寺町	S37.6.15
	松平八代墓	室町	大樹寺	鴨田町	S37.6.15
	岡崎城跡	享徳元年(1452)～康正元年 (1455)築城	岡崎市	康生町	S37.6.15
	山中城跡	大永4年(1524)清康入城	岡崎市	舞木町	S37.6.15
	松平清康墓 松平広忠墓	天文4年(1535)清康没 天文18年(1549)広忠没	大林寺	魚町	S37.6.15
	本多忠勝誕生地	天文17年(1548)誕生	岡崎市	西蔵前町	S37.6.15
	上宮寺境内地	永禄6年(1563) 一向一揆発端地	上宮寺	上佐々木町	S37.6.15
	勝鬘寺境内地	永禄6年(1563) 一向一揆拠点地	勝鬘寺	針崎町	S37.6.15
	松平広忠公御廟所	慶長10年(1605)	松應寺	松本町	S37.6.15
	大久保忠教墓 大久保忠員墓 宇津忠茂墓	寛永16年(1639)	長福寺	竜泉寺町	S37.6.15
	保久城主山下家墓所	鎌倉～室町	個人	保久町	S45.12.1
	甲山第1号墳	古墳中期	甲山寺	六供町	S47.7.5
	石田第1号墳	古墳後期	個人	細川町	S47.7.5
	石田第2号墳	古墳後期	個人	細川町	S47.7.5
	村上遺跡	縄文早期～縄文晩期	岡崎市	丸山町	S48.5.6
	村上古墳	古墳後期	岡崎市	丸山町	S48.5.6
	松本古窯跡	鎌倉	岡崎市	竜泉寺町	S49.1.11
	千人塚	応仁元年(1467)井田野の戦	鴨田町	鴨田町	S49.1.11
	藤川宿脇本陣跡	江戸	岡崎市	藤川町	S53.10.21
	猿投塚古墳	古墳中期(推定)	岡崎市	橋目町	S55.7.11
	奥殿藩藩主廟所	江戸	個人	奥殿町	S63.11.7
	日近城跡	室町	広祥院	桜形町	H27.6
	雨山砦跡及び雨山合戦地	弘治2年(1556)	個人	雨山町	H4.6.15
	小豆坂古戦場跡	天文17年(1548)他	愛知県	戸崎町	H11.10.7
天然記念物	ごばん山第3紀末波蝕巨礫群	－	個人等	池金町・生平町	S37.6.15
	聖善寺のしだれ桜	－	聖善寺	宇頭町	S38.5.8
	白山神社の大きくす	－	白山神社	康生町	S38.5.8
	土呂陣屋の松	－	岡崎市	福岡町	S38.5.8

天然記念物	法蔵寺の桜	－	法蔵寺	本宿町	S38.5.8
	奥山田のしだれ桜	－	奥山田のしだれ桜保存会	奥山田町	S38.5.8
	石神のちょうせんがや	－	個人	駒立町	S38.5.8
	大樹寺のしい	－	大樹寺	鴨田町	S38.5.8
	五万石ふじ	－	岡崎市	康生町	S38.5.8
	見返りの大スギ	－	天恩寺	片寄町	S46.5.20
	夏山の大スギ	－	諏訪神社	夏山町	S46.5.20
	牛乗山第三紀末波蝕巨礫群	－	薬師寺	藤川町	S46.9.25
	瓶井神社の大ケヤキ	－	瓶井神社	保母町	S47.7.5
	才栗のイチイガシ	－	白髭神社	才栗町	S47.7.5
	才栗のムクノキ	－	個人	才栗町	S47.7.5
	須淵素盞鳴神社社叢	－	素盞鳴神社	須淵町	S50.3.26
	法蔵寺のイヌマキ	－	法蔵寺	本宿町	S50.3.26
	浄光寺のイチヨウ	－	浄光寺	中島町	S50.3.26
	切越の夫婦ヒノキ	－	須佐之男社	切越町	S51.3.31
	茅原沢神明宮社叢	－	個人	茅原沢町	S53.10.21
	山中八幡宮のヒメハルゼミ生息地	－	山中八幡宮	舞木町	S57.9.8
	ゲンジボタル	－	愛知県・岡崎市	鳥川町他	S58.7.14
	瑞雲寺クロガネモチ	－	瑞雲寺	石原町	S60.1.26
	山中八幡宮のクスノキ	－	山中八幡宮	舞木町	S60.3.6
	浄光寺のハマボウ	－	浄光寺	中島町	S60.3.6
	とよとみ梨	－	個人	鳥川町	H2.7.6
	キシノウエトタテグモ生息地	－	岡崎市	康生町	H19.6.12
	桜井寺のシロバイ自生地	－	桜井寺	桜井寺町	H29.12.26

※1：中之郷町、上青野町、高橋町、上合歓木町、下合歓木町、安藤町、福桶町、下三ツ木町、上三ツ木町、下青野町、在家町、土井町、牧御堂町、法性寺町、宮地町、赤渋町
(ただし、上合歓木町、下合歓木町は合歓木町内にある通称町であり、行政上の町ではない。)

※2：井内町、下和田町、国正町、正名町、定国町、中村町、坂左右町、野畑町、若松町、針崎町、柱町、羽根町
(ただし、若松町、針崎町、羽根町は山方手永御田扇祭りに関わる旧来からの地区(マチ)を表す。)

国登録文化財

種類	名称	時代	所有者 管理者 (保持者)	所在地	登録年月日
建造物	八丁味噌本社事務所	昭和 2 年(1927)	(資)八丁味噌	八帖町	H8.12.20
	八丁味噌本社蔵(史料館)	明治 40 年(1907)	(資)八丁味噌	八帖町	H8.12.20
	本光寺本堂	大正 2 年(1913)	本光寺	上青野町	H19.10.2
	本光寺山門	文政 10 年(1827)	本光寺	上青野町	H19.10.2
	岡崎信用金庫資料館(旧岡崎銀行本店)	大正 6 年(1917)	岡崎信用金庫	伝馬通 1 丁目	H20.3.7
	旧石原家住宅主屋	安政 6 年(1859)	個人	六供町	H23.7.25
	旧石原家住宅土蔵	安政 6 年(1859)	個人	六供町	H23.7.25
	旧石原家住宅庭門	昭和初期	個人	六供町	H23.7.25
	旧愛知県第二尋常中学校講堂	明治 30 年(1897) 大正 14 年(1925)移築	岡崎市	針崎町	H25.3.29
	旧愛知県岡崎師範学校武道場	大正 15 年(1926)	国立大学法人愛知教育大学	六供町	H25.12.24
	日本福音ルーテル岡崎教会教会堂	昭和 28 年(1953)	宗教法人日本福音ルーテル教会	伝馬通 4 丁目	H25.12.24
	旧本多家住宅主屋	昭和 7 年(1932) 平成 24 年(2012)移築	岡崎市	欠町	H26.10.7
	善立寺本堂	享保 19 年(1734) 昭和 5 年(1930)、昭和中期 改修	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺七面堂	江戸後期 明治後期、昭和 44 年(1969)改 修	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺玄関	明治 31 年(1898)	善立寺	祐金町	H27.11.17
	善立寺山門	明治前期	善立寺	祐金町	H27.11.17
	愛知県立岡崎高等学校正門門柱(旧愛知県立第二中学校正門)	大正 13 年(1924) 昭和 47 年(1972)移設	愛知県	明大寺町	H29.6.28
	愛知県立岩津高等学校正門旧門柱(旧岩津町立愛知県岩津農商学校正門)	昭和 12 年(1937) 昭和 60 年(1985)移設	愛知県	東蔵前町	H29.6.28
	富田家住宅木南舎	文政 10 年 (1827) 建築 明治前期、平成 30 (2018)改修	個人	本宿町	R2.4.3
	富田家住宅土蔵	明治 9 年 (1876) 建築 平成 30 (2018) 改修	個人	本宿町	R2.4.3

第2章 計画作成に向けた把握調査

1 把握調査の手法

市内の歴史文化資産を抽出するために、「既往調査整理、歴史文化資産把握調査」「歴史的建造物等悉皆調査」「市民・学区・所有者・団体アンケート・ヒアリング調査」の3種の調査や整理を実施しました。

2 既往調査整理、歴史文化資産把握調査

(1)既往調査整理 調査手法

期間:令和元年度

目的:本市の歴史文化資産を幅広く把握し、計画検討の基礎資料とすることを目的に、岡崎市教育委員会社会教育課の実施した調査や刊行した図書、研究報告書等を整理し、リスト化しました。

成果:既往調査整理リスト作成

新編岡崎市史

巻	書名（編名）	発行年月日
第 1 巻	原始・古代（本文編）	平成 4 年 9 月 30 日
第 2 巻	中世（本文編）	平成 1 年 3 月 31 日
第 3 巻	近世（本文編）	平成 4 年 7 月 1 日
第 4 巻	近代（本文編）	平成 3 年 3 月 30 日
第 5 巻	現代（本文編）	昭和 60 年 12 月 28 日
第 6 巻	古代・中世（史料編）	昭和 58 年 3 月 31 日
第 7 巻	近世（史料編上）	昭和 58 年 3 月 31 日
第 8 巻	近世（史料編下）	昭和 60 年 11 月 30 日
第 9 巻	近代（史料編上）	昭和 60 年 11 月 30 日
第 1 0 巻	近代（史料編下）	昭和 62 年 9 月 30 日
第 1 1 巻	現代（史料編）	昭和 58 年 6 月 30 日
第 1 2 巻	民俗（別巻）	昭和 63 年 3 月 30 日
第 1 3 巻	近世学芸（別巻）	昭和 59 年 8 月 31 日
第 1 4 巻	自然（別巻）	昭和 60 年 8 月 31 日
第 1 5 巻	考古（史料編上）	昭和 62 年 3 月 31 日
第 1 6 巻	考古（史料編下）	平成 1 年 11 月 30 日
第 1 7 巻	美術工芸（別巻）	昭和 59 年 9 月 30 日
第 1 8 巻	建造物（別巻）	昭和 58 年 6 月 30 日
第 1 9 巻	民俗（史料編）	昭和 59 年 9 月 30 日
第 2 0 巻	総集編	平成 5 年 3 月 15 日
第 1 巻	額田資料編	平成 22 年 3 月 31 日
第 2 巻	額田資料編	平成 23 年 3 月 31 日
第 3 巻	額田資料編	平成 23 年 3 月 31 日

岡崎市史研究

名称	発行年度	内容	
創刊号	昭和53年	旗本柴田家の知行所の実態	
		東泉坊教山おぼえがき	
		史料紹介・本宿陣屋と代官富田家について	
		史料紹介『瀧山寺縁起』	
		各調査班の報告	
		新編岡崎市史編さん計画と経過概要	
第2号	昭和54年	経ヶ峰一号墳調査概報	
		三河古代の駅制―宮地駅家の位置比定―	
		岡崎藩分家水野五千石領の実態（一）	
		三河の俳人徳布について―「旅のひとつ」―	
		二校三校事件―1908（明治41）年高女新築反対運動―	
		岡崎市東部山間地における同族意識―古部町の事例を中心に―	
		昭和54年度業務経過と各調査班の活動概要	
第3号	昭和55年	矢作東宿・明大寺・岡崎	
		岡崎藩と相給の朱印地犬頭社人の村―三河国碧海郡宮地村の場合―	
		村送り文書の整理―岡崎城下投町区有文書を中心として―	
		日露戦争従軍兵士の記録について	
		経済高度成長期以後の岡崎市農業の変化	
		岡崎市の動物相の概要	
		昭和55年度業務経過と各調査班の活動概要	
第4号	昭和56年	〈特集〉日露戦争と岡崎	
		岡崎藩水野忠善時代の領地と家臣団	
		岡崎市域矢作川の民俗事象―「川と民俗」への一考察―	
		昭和56年度業務経過と拡販調査の活動概要	
第5号	昭和57年	〈特集〉 矢作川 ―歴史と自然―	特集にあたって
			矢作川河床遺跡と遺物
			矢作川河床遺跡採集の墨書土器
			中世の矢作―薬師寺と宿―
			岡崎藩本多・水野時代の矢作川水系の洪水
			矢作川の動物
			矢作川の植物
			ボーリング・コアから見た岡崎市域の矢作川流域の地質
			矢作川の洪水とすまい―「川と民俗」への一考察―
		明治維新期の西三河農業（上）	

第 5 号	昭和 57 年	岡崎市名誉市民・岡崎市史編著者 故柴田顕正先生の回想	
		昭和 57 年度業務経過と各調査班の活動概要	
第 6 号	昭和 58 年	〈資料紹介〉岡崎市内採集のナイフ形石器について	
		〈資料紹介〉岡崎市東郷遺跡出土の円窓付土器	
		「群府」墨書小考―矢作川河床遺跡渡 A 地区出土の墨書土器―	
		享和・文化期の岡崎領額田手永での水害	
		岡崎領における下級警察機構	
		岡崎藩領矢作川流域と 中・東部地域の村送り文書の整理	
		日露戦争下の軍資献納について	
		昭和 58 年度業務経過と各調査班の活動概要	
第 7 号	昭和 59 年	額田県再置論―三河県独立運動―	
		日中全面戦争初期における民衆動員の諸相―河合村村有文書の史的検討―	
		〈特集〉 近世学芸、美術工芸 の刊行を終えて	訂誤ならびに執筆のあれこれ
			桜間青厓筆「雪中山水図」について
			〈資料紹介〉雑俳通論補足資料
			太田便山と「箇中庵茶録」
			岡崎市史「彫刻篇」の執筆を畢えて
			美術工芸（絵画）の執筆を終えて
			「楊茂造」銘をもつ岡崎随念寺の彫漆香合
			〈資料紹介〉菩提院所蔵の涅槃図裏書
		昭和 59 年度業務経過と各調査班の活動概要	
第 8 号	昭和 60 年	岡崎における地場産業の変容	
		岡崎市高木遺跡出土の叩き甕をめぐって	
		岡崎市石田 1・2 号墳調査概報	
		岡崎藩領西牧内村と水野知行所東本郷村との水論	
		大浜騒動の社会的背景―暮戸会所を中心にした東本願寺派寺院の動向について―	
		〈特集〉 自然編の刊行を 終えて	自然編地学の刊行を終えて
			岡崎市の動物相について
			―新編岡崎市史自然編（動物）をまとめて―
			竜美丘の自然の移りかわり
			―新編岡崎市史、自然編の調査から―
		大原準之助先生の死を悼んで	
		昭和 60 年度業務経過と各調査班の活動概要	
第 9 号	昭和 61 年	岩津城とその研究の現状	
		柳川市所蔵田中文書について	

第 9 号	昭和 61 年	元禄五年荷兮歳旦一翻刻と解題一
		領主の資金調達について一鈴木忠兵衛家文書を中心に一
		〈史料紹介〉伊藤正夫家文書 御馳走番勤方（上）
		〈史料紹介〉在村番匠（大工）組織と太子講一幕末から明治にかけて一
		松井家文書のこと二、三一史料についてのモノローグ一
		ジノカミ信仰の予備的考察一三・遠地方との関連を求めて一
		三河の長者屋敷伝承と金属採取者の足跡
		昭和 61 年度業務報告と各調査班の活動概要
第 10 号	昭和 62 年	菅江真澄への歩み
		歴史学と民俗学の関係をめぐって
		矢作川河床遺跡採集の「驛」墨書
		那智参詣曼荼羅諸本の系統と明星院本
		西大平藩の軌跡
		三秀亭李喬の光と陰
		〈史料紹介〉伊藤正夫家文書 御馳走番勤方（下）
		『愛知県庁文書』の分散の経緯について
		三河における高橋地名・人名の由来一歴史民俗学的研究（前編）一
		追悼・黒羽清隆先生
		新井幸雄さんを偲んで
		市史編さん事業の回顧（抄）
第 11 号	昭和 63 年	昭和 62 年度業務と活動の概要
		『岡崎市史研究』総目録
		滝山寺本尊薬師寺如来坐像について
		徳川家康の異母兄弟
		三河俳諧人名録一卓池の『諸国人名録』に拠る一
		江戸後期の岡崎における池坊華道の諸相と兵藤弄花軒
		三河における真宗寺院の組について一江戸時代後期の史料紹介を中心に一
		西三河地方における木綿仲買商の動向一碧海郡新堀村、深見紀兵衛家を事例にして一
第 12 号	平成元年	三河における高橋地名・人名の由来一歴史民俗学的研究（後編）一
		昭和 63 年度業務報告と活動の概要
		藤原為忠三河国名所歌合について
		『追善老の春』一解説と翻刻一
		昭和初期の既成政党と支持基盤の拡大一岡崎民政青年団の動向を中心として一
		火鑛具の形態について
		〈研究ノート〉岡崎市域の古墳についての覚え書一細川地区の古墳分布について一
		史料紹介・「御家譜編年叢林」所載の今川氏発給文書

第 12 号	平成元年	資料紹介「伝馬町下之切御駕籠御訴訟願書」	
		岡崎市の博物館建設に望む	
		平成元年の業務報告と活動の概要	
		市史編さん日誌（抄）	
第 13 号	平成 2 年	三河目代松平念誓と朱印継承子孫の松平甚助家	
		三河地方における木綿賃織経営の一事例―額田郡本宿村・富田代太郎家をめぐって―	
		史料紹介「記録帳」―西尾市 野村一夫氏所蔵文書から―	
		史料紹介「伝馬町下両切針仕女 御請書扣」	
		史蹟「大岡越前守旧跡」をめぐる史料	
		〈特集〉市史編さん周囲	
		平成二年の業務報告と活動の概要	
		市史編さん日誌（抄）	
第 14 号	平成 3 年	水野忠辰による藩政の改革についての一考察―寛延二年正月の政変を通して―	
		三河の秋葉山常夜燈について（続）	
		〈特集〉	特集にあたって
			続市史編さん周囲
			岡崎市史総目次
			新編岡崎市史総目次
		平成三年の業務報告と活動の概要	
		市史編さん日誌（抄）	
第 15 号	平成 5 年	〈特集〉	三龍社所蔵史料の紹介によせて
			合資会社三龍社『事業報告書』第一期（1897 年）～第二六回（1922 年）の紹介
			三龍社旧製糸工場の産業遺産
			三龍社旧製糸工場の建築
		三河大沼城の歴史と構造	
		史料紹介 長瀬八幡宮祭礼争論関係史料	
		平成四年の業務報告と活動の概要	
第 16 号	平成 6 年	〈特集〉 不忘義團の記録	史料紹介 不忘義團（上）
第 17・ 18 合併号	平成 8 年	矢作川中流域における中世後期の集落と「城館」	
		江戸時代後期の三河における寺院の生活（上）―滝町萬松寺文書「瀧山萬松寺大切之内日記」の史料紹介・考察によせて―	
		〈史料紹介〉「瀧山萬松寺大切之内日記」（一）	
		萬松寺文書にみられる「食」について（一）	

第 17・ 18 合併号	平成 8 年	矢作川河床遺跡の木製燈と木製燈の変遷	
		〈史料紹介〉不忘義團（下）	
		〈文化財レポート〉	市指定天然記念物「鰻池湿原植物群落」の現状
		鰻池自然調査報告	通称「鰻池」の動物・昆虫類について
第 19 号	平成 9 年	菱池開発と近世初頭の土呂郷	
		本宿富田家蔵書の考察―蔵書構成とその傾向―	
		史料紹介「東海道大浜茶屋本陣高井家の御休記」について	
		『三州青々所卓池翁吟巻』―解説と翻刻―	
		岡崎市立図書館郷土図書室における資料収集―特に「鶴田卓池文庫」設立の経緯とその後―	
		〈資料紹介〉占部川右岸沖積地出土の弥生土器	
		〈資料紹介〉岡崎地域文化広場表採の埴輪片について	
第 20 号	平成 10 年	岩津一号墳と三葉文環頭太刀	
		土呂村の有力商人の資産運営	
		赤痢・ペスト・コレラ―愛知県における明治・大正期のパンデミックとその対策―	
第 21 号	平成 11 年	岡崎領周辺の西三河での木綿栽培について	
		近世の岡崎石工と在銘作品	
		旧額田郡物産陳列所関連資料	
		調査概要 岡崎宿ゆかりの朝鮮通信使に関わる対馬藩朝鮮方補佐役雨森芳州について	
		岡崎城跡公園内の動物・昆虫類の概要	
		小針遺跡出土の鉄製品―『小針遺跡』（1999）補遺―	
		経ヶ峰 1 号墳出土の甲冑形埴輪	
第 22 号	平成 12 年	〈特集〉 史跡岡崎城跡	史蹟としての岡崎城
			中世岡崎城の形成と構造
			岡崎城の縄張りについて―丸馬出を中心として―
			地籍図から見た岡崎城と岡崎城下町
			二の丸跡の発掘調査（1）
			―三河武士のやかた家康館建設に伴う発掘調査―
			二の丸跡の発掘調査（2）
			―家康公生誕 450 年記念造設置に伴う発掘調査―
			岡崎城跡（グランド地区）試掘調査概要報告
			岡崎城の石垣について―その成立と様相―
第 23 号	平成 13 年	〈特集〉 史跡岡崎城跡 2	岡崎公園の樹木
			岡崎城のコケ植物
			岡崎城堀内堆積物の珪藻分析による 17～18 世紀の埋積環境
			岡崎公園の野鳥

第 23 号	平成 13 年	特集〉 史跡岡崎城跡 2	岡崎公園の哺乳類、両生・爬虫類、魚類、陸貝類
			岡崎公園の蝶
			岡崎公園のトンボ類
			岡崎公園内の真正クモ類
			岡崎公園内に生息する甲虫類について
			岡崎藩の御家騒動一仮養子一件について―
			岡崎城絵図について
第 24 号	平成 14 年	〈特集〉 志賀重昂	〈新出資料〉世界旅行中に出した絵ハガキ
			志賀重昂 世界旅行と旅行中の絵ハガキ
			―絵ハガキの資料的価値について―
			志賀重昂 世界旅行の行程と活動
			志賀重昂の郷土への貢献とその情誼
			志賀重昂年譜・解説
		岡崎市資料叢書『中根家文書 上』について	
第 25 号	平成 15 年	〈特集〉 市内埋蔵文化財 調査	於新造古墳出土の円筒埴輪
			西大平陣屋跡の試掘について
			滝町長坂古墓について
			岡崎市内の遺跡調査：北部地区、中部地区、東部地区、南部地区、西部地区、矢作川
第 26 号	平成 16 年	〈特集〉 甲山寺	文書 甲山寺小史
			建造物 甲山寺護摩堂の建築的特質
			彫刻 甲山寺・薬師寺の仏像・肖像彫刻
			―平安時代後期～江戸時代―
			絵画 甲山寺の仏教絵画
第 27 号	平成 17 年	天然記念物 須淵素戔鳴神社社叢の調査報告	須淵素戔鳴神社南部社叢の植物
			岡崎市指定天然記念物「須淵素戔鳴神社社叢」の昆虫類
			県道道拡幅に伴う岡崎市須淵町地内素戔鳴神社とその周辺の動物調査（哺乳類）
		岡崎市岡崎城公園におけるキシノウエトタゲモの調査報告書	
		くらがり溪谷の植物からみる額田の自然	
		平成 17 年度市内遺跡 発掘調査の概要	北野廃寺跡第 6 次発掘調査の概要報告
			坂戸遺跡試掘調査の概要報告
			上宮寺境内地跡発掘調査の概要報告

第 28 号	平成 19 年	新編岡崎市史 額田資料編特集	〈写真版〉 新たに確認された文化財 —彫刻・絵画・古文書・絵図・表札—	
			特集にあたって	
			一 『新編岡崎市史額田資料編』の編さんによせて	
			二 編集のねらいと編集計画	
			三 編集組織	
			四 本年度の調査・研究活動	(一) 文化財部会
				(二) 考古部会
				(三) 古代中世部会
				(四) 近世部会
				(五) 近現代部会
第 29 号	平成 20 年	新編岡崎市史額田資料 編特集 II	〈論文〉	軍事援護組織「愛知県額田慰労会」の地域的特質
				近世額田地域の助郷村々
			新編岡崎市史 額田資料編 編さん事業 年度報告	文化財部会
				考古部会
				古代中世部会
				近世部会
				近現代部会
				民俗部会
			〈研究報告〉	当(頭)屋祭祀雑感—民俗部会調査ノートより—
				石原村(現岡崎市石原町)における官林下戻し運動の展開
				幕末期における旗本在地用人の一樣相—保久陣屋石川氏用人近藤家文書より—
			〈史料紹介〉 寛保二年 御鋤祭の記録	
第 30 号	平成 21 年	新編岡崎市史額田資料 編特集 III	研究ノート「岡崎町立通俗図書館」初代館長千蔵尚・書記八木開枝(付)新編『岡崎市史』における図書館史の誤り正す	
			本宿学区公民館(旧本宿村役場本館)現状調査について	
			新編岡崎市史 額田資料編 編さん事業 年度報告	文化財部会
				考古部会
				古代中世部会
				近世部会
				近現代部会
				民俗部会
			天恩寺本尊「木造地藏菩薩坐像」胎内納入品の発見	

第 30 号	平成 21 年	〈資料紹介〉	日露戦争後の原料（大豆）供給について 一大正期のカクキュー早川商店の大豆購入一	
			岡崎の近代化遺産	
		〈調査・研究報告〉	服部工業の歴史的鑄造工場と三州釜の技術遺産	
			平成 20 年度 市内遺跡発掘調査概要	
			塚廻古墳群の調査	
第 31 号	平成 22 年	新編岡崎市史額田資料 編特集Ⅳ	新編岡崎市史 額田資料編編 さん事業年度 報告	文化財部会
				考古部会
				古代中世部会
				近世部会
				近現代部会
民俗部会				
〈論文〉愛知県三河地方に於ける徴兵慰労会規約の特質				
〈調査研究報告〉三龍社旧製糸工場に関する産業遺産の調査研究報告				
第 32 号	平成 23 年	新編岡崎市史額田資料 編特集Ⅴ	新編岡崎市史額田資料編編さん事業総括 新編岡崎市史額田 資料編編さん活動の反省と今後の課題	
		〈調査研究報告〉	額田の農繁期保育所・共同炊事場の役割 一戦時下食糧増産と労力強化を求められた農村一	
			岡崎市の円空仏	
		〈資料紹介〉	第六回山村経済実態調査報告書	
			滝山寺三門の扁額と明治三十六年の看板	
			萬松寺本堂の棟札について	
		第 33 号	平成 24 年	〈調査研究報告〉戦時下額田の無医村村民の健康を守った村長と保健婦 一映画『村の保健婦』と雑誌『婦人公論』の中の形埜村の保健婦を中心に一
〈資料紹介〉近代における岡崎市西部地域の土木事業一伊賀川改修の軌跡一				
第 34 号	平成 25 年	〈調査研究報告〉瀧山寺文書の調査及び目録		
		〈資料紹介〉瀧山寺所蔵大般若經について一南宋版經・応永六年写經一		
		〈調査研究報告〉	重要文化財建造物の屋根葺替等保存修理工事報告 一伊賀八幡宮・瀧山寺本堂・三門・天恩寺山門一	
			旧本多忠次邸のステンドグラス及び家具修理報告	
			旧本多忠次邸のステンドグラスについて 一近代建築のステンドグラス一	
第 35 号	平成 27 年	〈調査研究報告〉戦後混乱期の社会事業保護施設下山村授産所の苦難一引揚者・帰還軍 人・戦災罹災者・疎開者救済を目指した下山村授産所の設立と廃止を追って一		
		〈資料紹介〉塩買帳について（抄）		

第 36 号	平成 29 年	〈調査研究報告〉「山羊の村」と呼ばれた形埜村と「愛育新聞」 —「山羊の一戸一頭飼養」と「山羊乳の飲用」の成果—
		岡崎市指定有形文化財 熊毛兜の保存修理報告

調査報告書等(遺跡等関係除く)

名称	発行日	発行者
愛知県岡崎市周辺の歴史と石造文化財	昭和 11 年 1 月	岡崎市教育委員会
岡崎の植物（岡崎市植物誌）	昭和 46 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
岡崎市の淡水魚相	昭和 53 年 7 月	岡崎市教育委員会
岡崎の碑—句碑と歌碑—	昭和 54 年 3 月	岡崎市教育委員会
岡崎市のかたつむり類	昭和 58 年 7 月	岡崎市教育委員会
国指定天然記念物ゲンジボタルの人工増殖	平成 2 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
岡崎の文化財めぐり	平成 3 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
岡崎の文化財めぐり	平成 4 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
岡崎古絵地図集	平成 5 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
岡崎の文化財めぐり	平成 6 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
ぬかた町文化財めぐり	平成 12 年 3 月	額田町教育委員会
額田町史資料集 12 ふるさと額田の自然 一樹木—	平成 14 年 3 月	額田町教育委員会
旧本宿村役場本館調査報告書	平成 21 年 2 月 27 日	岡崎市教育委員会
東海道岡崎城下二十七曲り	平成 23 年 3 月	政策推進課 社会教育課 美術博物館
旧愛知県第二尋常中学校講堂建物 現状調査報告書	平成 23 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
瀧山寺日吉山王社総合調査報告Ⅰ 建造物 日吉山王社本殿の調査報告書	平成 23 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
岡崎市旧本多忠次邸移築復原工事報告書	平成 25 年 3 月	岡崎市
瀧山寺日吉山王社総合調査報告Ⅱ 古文書・民俗・美術工芸品	平成 25 年 3 月 25 日	岡崎市教育委員会
御田扇祭り調査報告書	平成 26 年 3 月 25 日	岡崎市教育委員会
旧額田郡公会堂及物産陳列所 保存活用計画	平成 30 年 3 月	岡崎市教育委員会
瀧山寺鬼祭り民俗文化財調査報告書	平成 30 年 3 月 28 日	岡崎市教育委員会

調査報告書等(遺跡等関係)

名称	発行日	発行者
宇頭古墳群	昭和 36 年 7 月 30 日	岡崎市文化財 保護審議会
岩津古墳群	昭和 39 年 3 月 31 日	岡崎市文化財研究会
岡崎市遺跡分布調査報告	昭和 45 年 2 月 28 日	岡崎市教育委員会
於御所遺跡	昭和 47 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
於御所遺跡一第 2 次調査一	昭和 49 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報	昭和 50 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
坂戸遺跡	昭和 50 年 3 月	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (2)	昭和 50 年 12 月 20 日	岡崎市教育委員会
高隆寺内発見の中世墓跡	昭和 53 年 2 月 1 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (3)	昭和 54 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
史跡北野廃寺跡環境整備事業報告書	昭和 54 年 3 月	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (4)	昭和 54 年 3 月 20 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (5)	昭和 55 年 3 月 1 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (6)	昭和 56 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
経ヶ峰 1 号墳	昭和 56 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
真福寺東谷遺跡	昭和 57 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
岡崎城二の丸跡	昭和 57 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡調査概報 (7)	昭和 58 年 3 月 21 日	岡崎市教育委員会
矢作川河床遺跡出土品展図録	昭和 58 年 9 月 20 日	岡崎市教育委員会
北部遺跡群	昭和 59 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
東郷遺跡	昭和 60 年 3 月 30 日	岡崎市教育委員会
矢作川河床遺跡 (I) 一建設省護岸工事に伴う渡地区、大門地区の調査一	昭和 63 年 3 月 25 日	建設省中部地方 建設局
岩津城跡測量調査報告書	平成 1 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡環境整備事業報告書	平成 1 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
太夫塚古墳	平成 3 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
北野廃寺	平成 3 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
牧平遺跡・下堺津遺跡範囲確認調査報告書	平成 3 年 9 月 30 日	額田町教育委員会
古村積神社古墳発掘調査報告書	平成 5 年 3 月 25 日	岡崎市教育委員会
ハサマ遺跡発掘調査報告書	平成 6 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
小針遺跡	平成 9 年 3 月 20 日	岡崎市教育委員会
小針遺跡	平成 11 年 3 月 26 日	岡崎市教育委員会
外山古墳群発掘調査概報	平成 12 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会

真宮遺跡	平成 13 年 3 月 23 日	岡崎市教育委員会
岡崎城跡菅生曲輪発掘調査概報	平成 15 年 2 月 28 日	岡崎市教育委員会
高木・神明遺跡	平成 15 年 11 月 28 日	岡崎市教育委員会
生平遺跡	平成 16 年 9 月 30 日	岡崎市教育委員会
村上遺跡	平成 18 年 2 月 28 日	岡崎市教育委員会
正万遺跡	平成 18 年 2 月 28 日	岡崎市教育委員会
地下に埋もれた縄文の森－矢作川河床埋没林調査報告書－	平成 19 年 3 月	矢作川河床埋没林 調査委員会 豊田市教育委員会 岡崎市教育委員会
前田遺跡	平成 20 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
坂戸遺跡発掘調査概報	平成 21 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
東部地域遺跡詳細分布調査報告書	平成 22 年 3 月	岡崎市教育委員会
岡崎城跡Ⅰ－二の丸・大林寺郭堀発掘調査－	平成 23 年 3 月 31 日	岡崎市教育委員会
真宮遺跡Ⅱ－第 10・11・12 次調査－	平成 24 年 3 月 23 日	岡崎市教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書Ⅰ －米野遺跡・上宮寺境内地跡・生平遺跡－	平成 24 年 3 月 23 日	岡崎市教育委員会
岡崎城跡Ⅱ－東曲輪－	平成 24 年 9 月 28 日	岡崎市教育委員会
丸山城跡	平成 25 年 3 月 22 日	岡崎市教育委員会
一ノ坪遺跡・安藤屋敷跡	平成 26 年 3 月 25 日	岡崎市教育委員会
岡崎城跡Ⅲ－三の丸－	平成 28 年 3 月 25 日	岡崎市教育委員会
岡崎城跡Ⅳ－菅生曲輪 遺物編 1－	平成 29 年 3 月 28 日	岡崎市教育委員会

(2)歴史文化資産把握調査 調査手法

期間:令和元年度～令和２年度

目的:本市の歴史文化資産を幅広く把握し、計画検討の基礎資料とすることを目的に、県史・市史などの文献による調査とデータベース化を実施しました。

手法:以下の文献を使用し、歴史文化資産の情報を抽出・表化しました。

調査に使用した文献	
新編 岡崎市史（本文編・史料編・別巻）	岡崎まちなものがたり
岡崎市史 額田資料編	岡崎市東部地域遺跡詳細分布調査報告書
愛知県史（通史編・資料編・別冊）	岡崎城跡整備基本計画-平成 28 年度改訂版-
愛知県の近代化遺産	東海道岡崎城下二十七曲り
岡崎市歴史的風致維持向上計画	岡崎市指定文化財目録

※歴史文化資産の分類については本資料編発行時点のものであり、今後の調査・把握の中で変更等を行う可能性があります。

※文献調査で把握し、現地・現物の調査が未実施の歴史文化資産を含みます。

※調査時点の情報であり、その後現状変更、撤去等されたものを含みます。

成果:歴史文化資産のデータベース作成

(3)歴史文化資産把握調査 調査結果

種類		件数
建造物	建造物、土木構造物、工作物	985
美術工芸品	絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料	3,245
無形文化	演劇、音楽、工芸技術、及びそれら技能の持ち主	6
無形民俗	民俗芸能、民俗技術、祭事、年中行事など	125
有形民俗	無形民俗に用いられる衣服、器具、家屋など	43
遺跡	古墳、貝塚、城跡、寺院跡、集落跡、古戦場など	1,107
名勝	庭園、並木、山岳、峡谷、河川、湖沼など	31
動物・植物・地質鉱物	動物、植物、地質鉱物など	38
文化的景観	棚田、里山、用水路、街道など	3
合計	—	5,583

3 歴史的建造物等悉皆調査

(1)歴史的建造物等悉皆調査 調査手法

期間:平成 28 年度～平成 30 年度

目的:本市は社寺を多く有する市であり、中世以来の建造物なども多く残っています。一方で町家や農家などの残存状況については広く周知されておらず、地域の歴史文化資産と周辺環境を明らかにする上で、悉皆的調査が必要であると考えられました。そこで、市域の築 50 年以上の建造物の用途や分布状況等を民間団体と連携して調査しました。

手法:登録有形文化財の登録基準である築 50 年以上の建造物と戦前に建てられた築 70 年以上の建造物を抽出して、現地において外観を確認する悉皆調査（一次調査）を実施しました。愛知建築士会岡崎支部及び愛知県建築士事務所協会岡崎支部の協力を得て、対象物件の 15,659 件のうち、岡崎の歴史に関わるものや建築的な特徴が残っているなどの理由から保存・活用したいと感じる建造物について、調査票の作成と外観写真の撮影を行い、歴史文化資産となり得る建造物 1,859 件の調査票を作成しました。

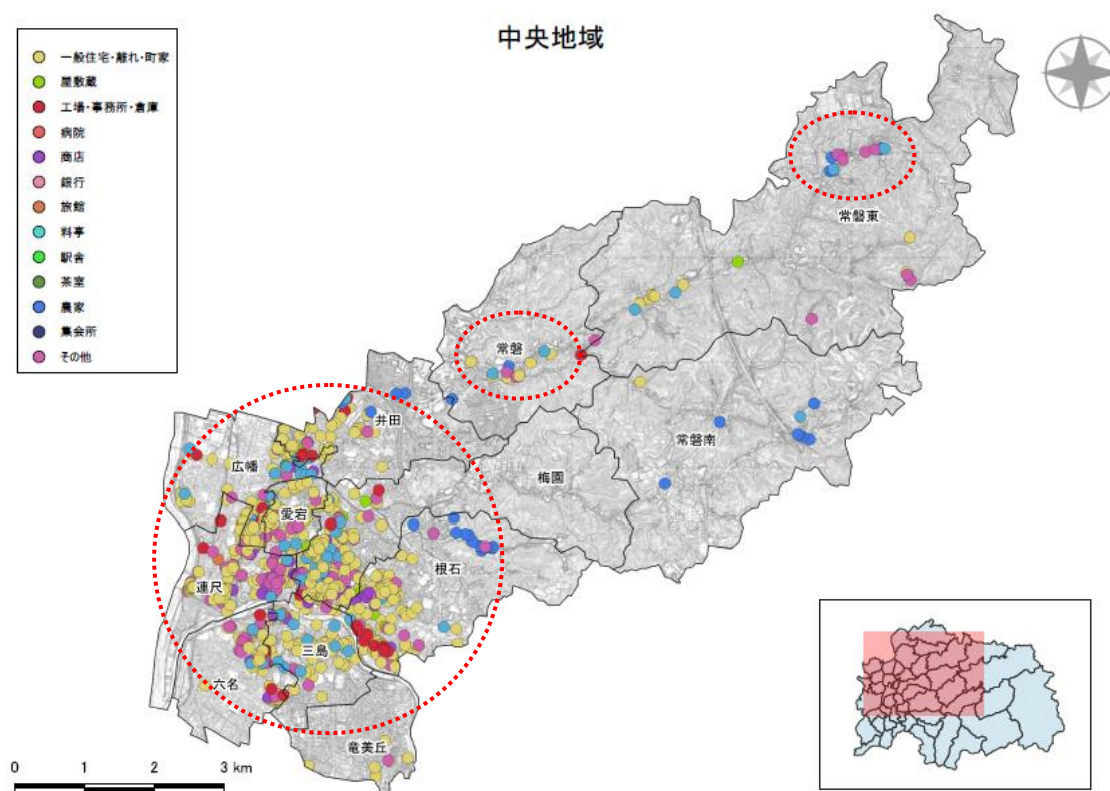
成果:歴史的建造物カルテ作成、データベース作成、公民連携体制構築

(2)歴史的建造物等悉皆調査 調査結果

中央地域

中央地域は岡崎城、康生町を中心に、近世宿場町や城下町があり、近代においても額田郡役所、岡崎町役場などの公共施設がそろそろ中心地として栄えた地域です。もともと、ここには古くからの城下町を中心に多くの建造物が密集していました。この地域は第二次世界大戦時に空襲を受けて多くの建物が焼失していますが、被災しつつも修理して使われ続けた建物や被災範囲外の建物が現在も残っていたことから、築 70 年以上の建造物の調査票が多く作成されています。建造物の種類としては、一般住宅・離れ・町家のほか、商店が多く残る点に特色があります。

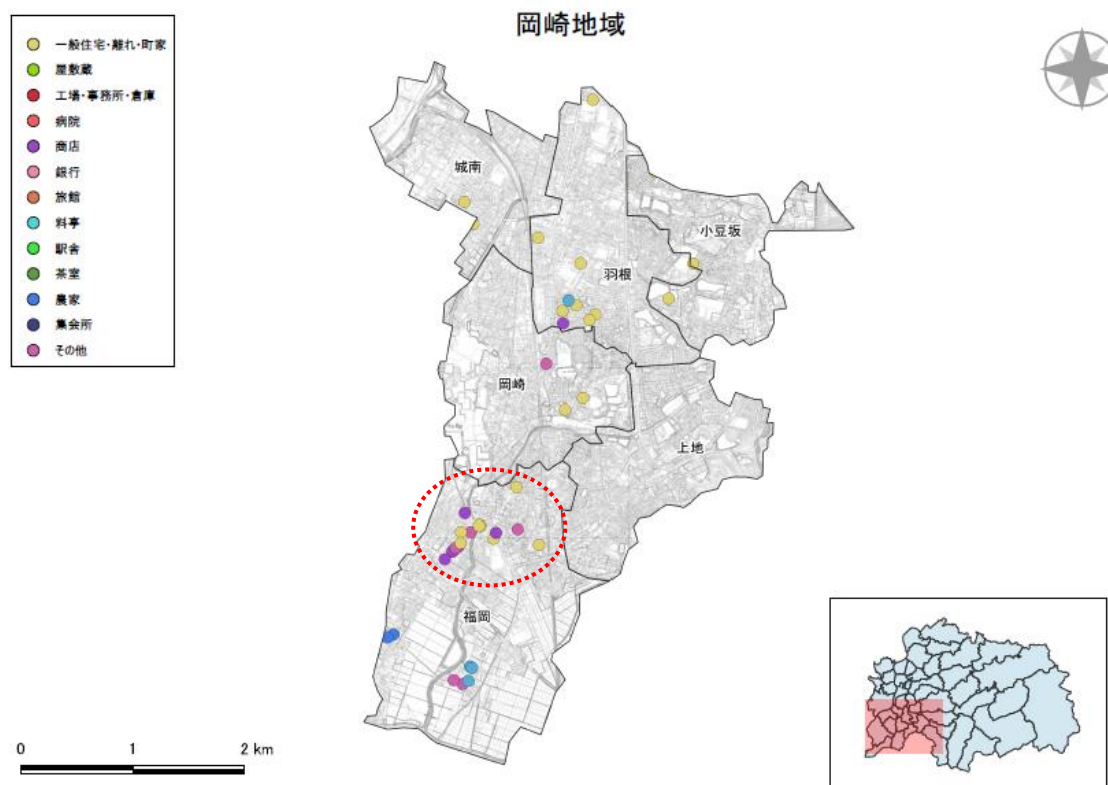
古代東海道の矢作川渡河点の一つであった大門地区へ通じる街道があり、中世以降も松平往還、大沼街道と三河山地奥部へ通じる街道筋にあったため発展した滝山寺地区及び街道筋についても、建造物の分布が見られます。滝山寺周辺は一般住宅・離れ・町家が多く、常磐東学区は塩道と呼ばれていた街道沿いに農家などが分布しています。



岡崎地域

蓮如上人ゆかりの一向宗寺院である本宗寺を中心として、通称御堂山の頂上に堀と土塁に囲まれた東西1町、南北1町余りの寺域をもち、阿弥陀堂・開山堂以下の坊舎が立ち並び、寺内町には掛所や末寺、1,200軒余の民家があり、三河以東の門徒が参詣する地域的流通の中心となっていました。三河一向一揆の際は拠点のひとつとなります。

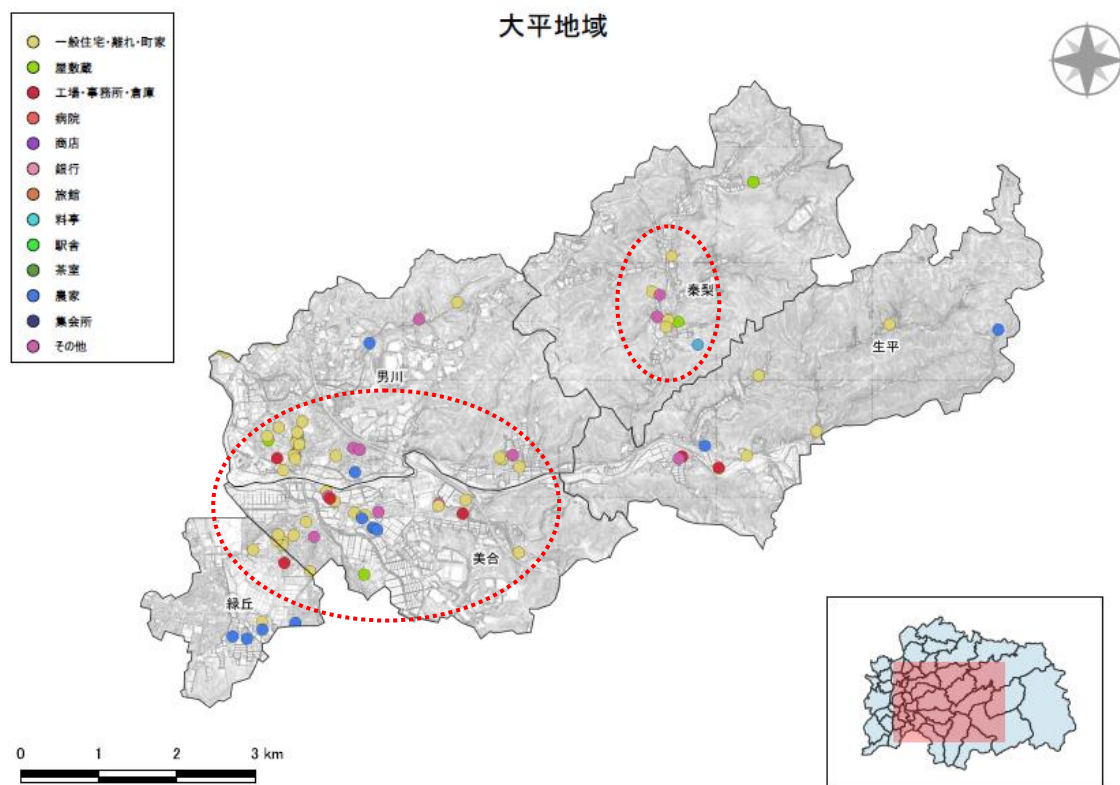
近世には中島街道沿いの在郷町として発達しました。この福岡学区の土呂本通り沿いなどに一般住宅・離れ・町家や商店の分布が見られました。



大平地域

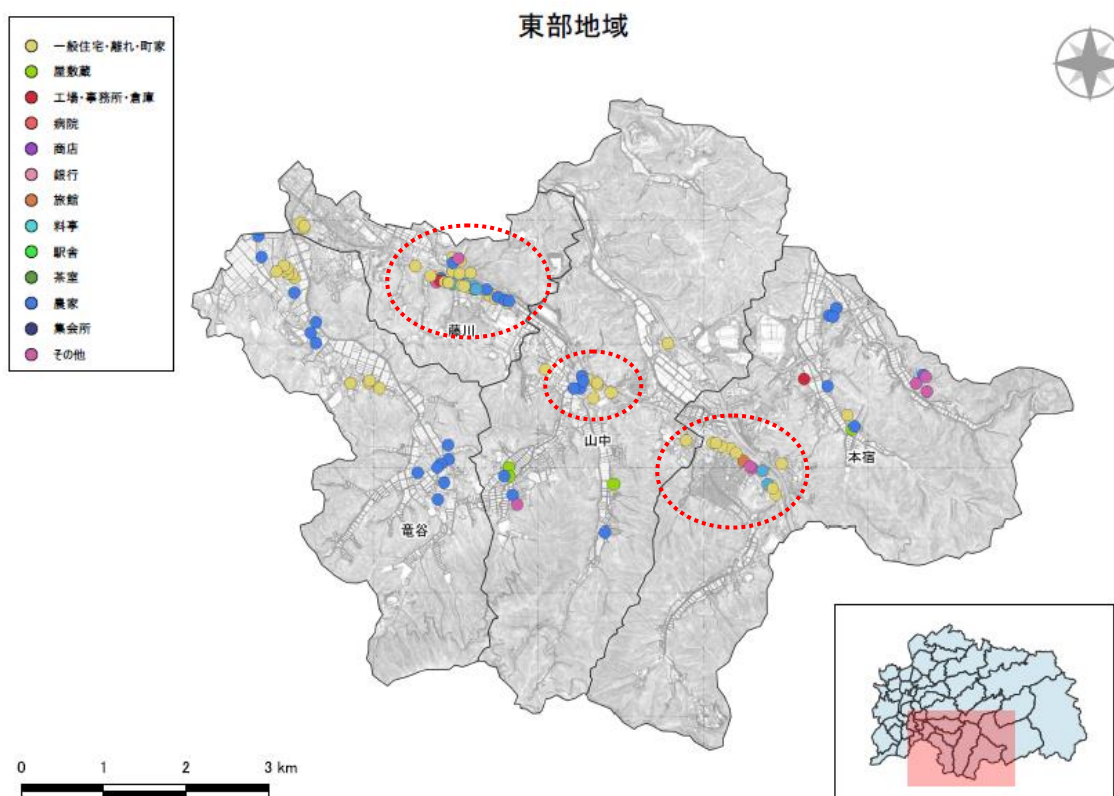
乙川の河岸段丘上に古くから人の営みが始まった大平地域には、縄文時代の遺跡である村上遺跡や古墳時代の経ヶ峰古墳群などが存在しています。東海道が整備されてからは人々が盛んに往来し、明治期には官営愛知紡績所や男川製糸合資会社が作られ紡績の町として栄えたことから、旧東海道沿いや乙川沿いに歴史的建造物が多く分布しています。寛延元年に大岡越前守忠相が額田郡西大平村に設置した陣屋である西大平藩陣屋跡周辺に、一般住宅・離れ・町家や農家が分布しています。

また、秦梨学区の乙川沿いはガラ紡が盛んに行われ、この乙川に沿うように、一般住宅・離れ・町家が分布しています。



東部地域

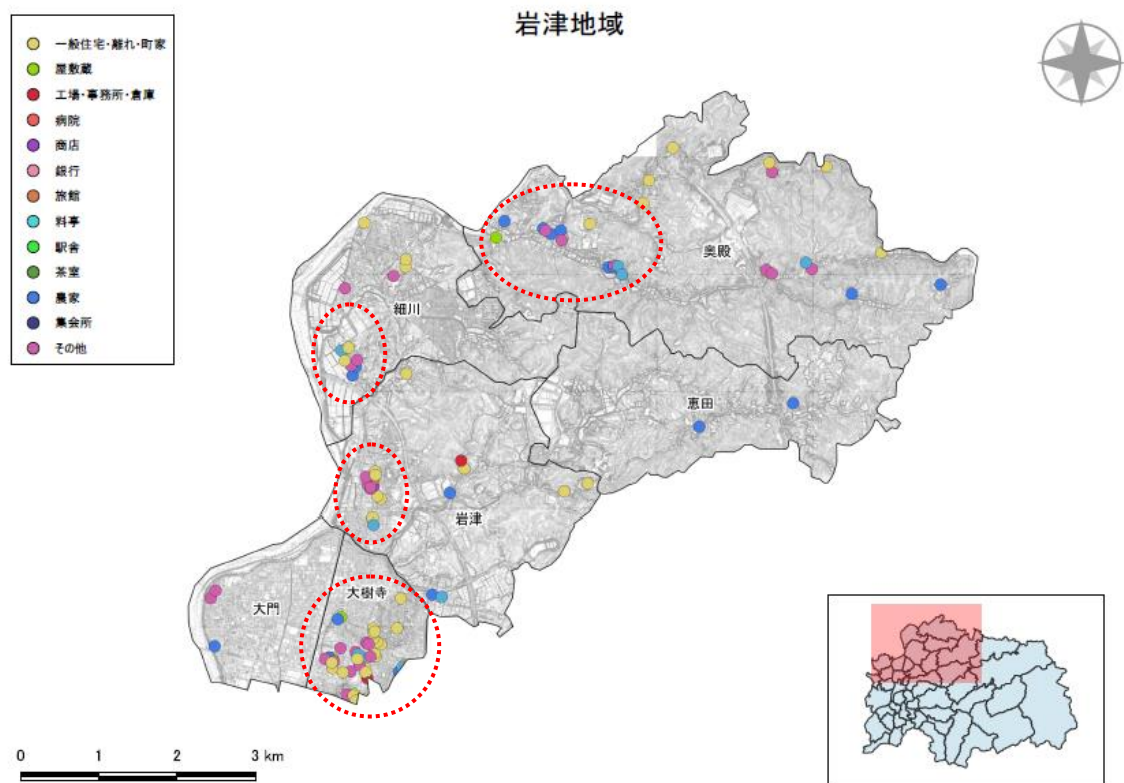
旧東海道の街道筋に、歴史的建造物が多く分布しています。東海道 37 番目の宿駅にあたり、中世から交通の要地であった藤川宿は、天保 14 年（1843）の記録（『宿村大概帳』）によると家並み九町二十間（約 1.02 km）、戸数 302、本陣、脇本陣各 1、問屋場 1、旅籠屋 36（大 7、中 16、小 13）、宿内人別 1213 人であったとされ、今も町家や松並木が往時の風情を伝えています。中世鎌倉街道の宿駅山中宿が置かれ、旧東海道街道筋に位置する山中郷周辺は明治以降山綱川や鉢地川を利用した紡績業（ガラ紡）で栄えました。本市の東海道東の出入口にあたり、陣屋跡や代官屋敷があるほか、中世以降室町幕府 6 代将軍足利義教の祈願所とされる法蔵寺を中心に町並みが形成された本宿周辺は、門前町として発展し、旧東海道沿いには一里塚や古い格子戸の家が点在しています。このように、街道やガラ紡の盛んに行われた河川に沿うように、一般住宅・離れ・町家や農家などが分布しています。



岩津地域

松平氏・徳川家の菩提寺である大樹寺や、かつて名鉄挙母線の始発駅かつ名鉄岡崎市内線の終点として大樹寺駅が置かれた大樹寺地区では、学区の中心を南北に抜ける足助街道（県道岡崎足助線）を中心に一般住宅・離れ・町家が分布しています。同じく足助街道沿いに位置する岩津地区や細川地区も旧街道に沿うように歴史的建造物が分布しています。岩津地区の旧街道沿いは、岩津劇場での興行や岩津天神の祭礼の際大いに賑わったといいます。

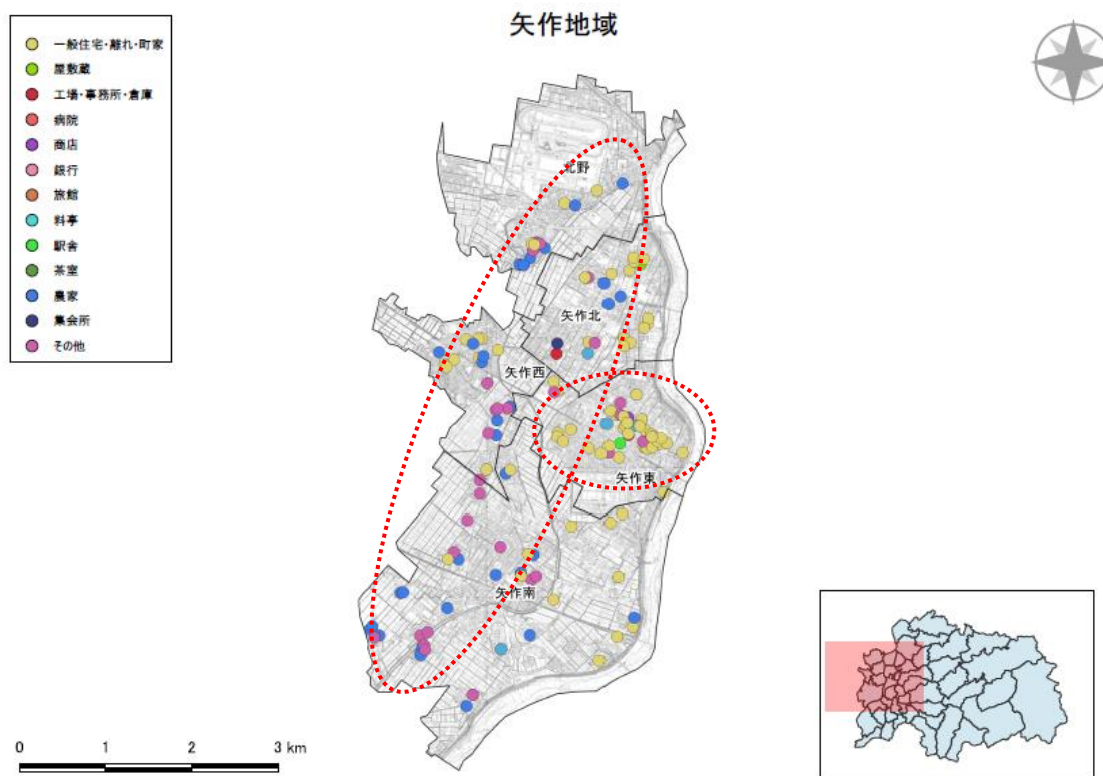
近世には奥殿陣屋が置かれ、近代には郡界川流域のガラ紡で栄えた奥殿地区では、陣屋跡や郡界川を中心に農家などが分布しています。



矢作地域

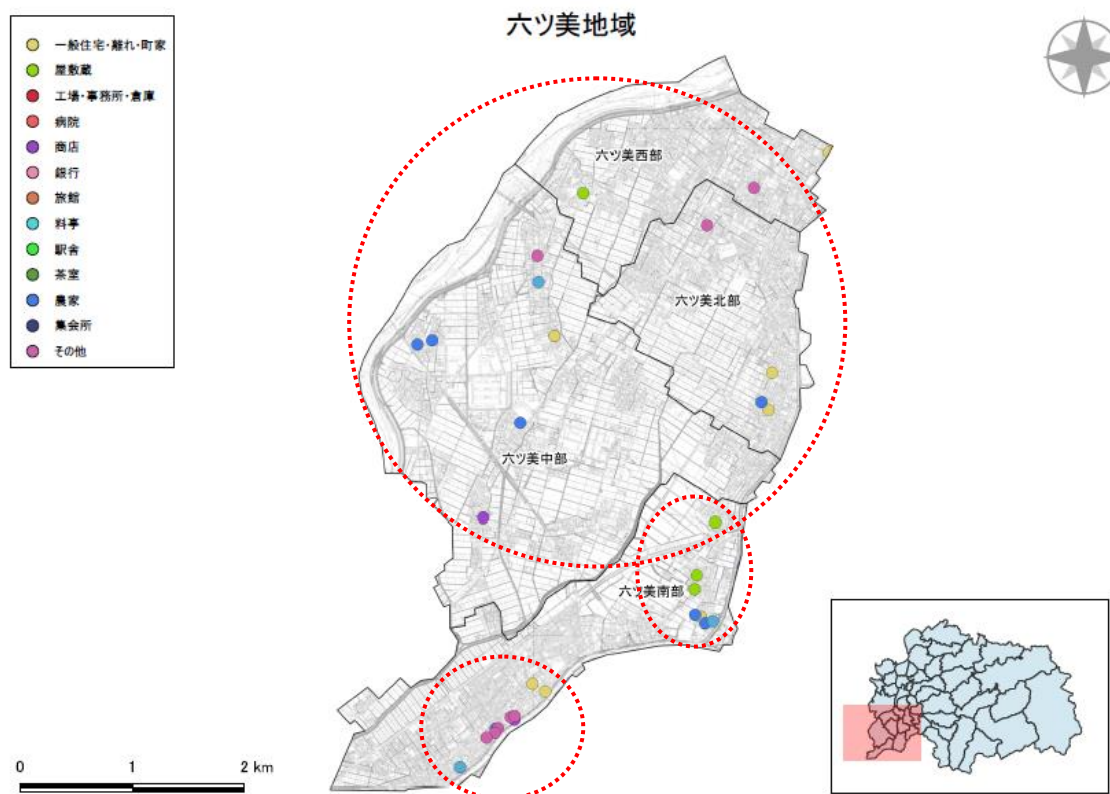
矢作川の氾濫原として肥沃な沖積平野と、それを望む碧海台地を擁する矢作地域は、古くから人々が居住し、古代以来交通の要地として栄えてきた地域です。矢作川は田中吉政による築堤工事の結果現在の姿に近くなりますが、それ以前は風化しやすい領家花崗岩地帯を通り、マサ（真砂）と呼ばれる粗砂を大量に供給し、流路を様々に変化させ、多くの自然堤防を造り出す河川でした。そこが縄文時代以来人々の生活の場として活用され、特に新米の稲作技術を導入し、農耕を始めた弥生時代以降には、その生産特性を活かし低湿地を水田とし、自然堤防上に集落が営まれていったものと考えられ、このような散在する自然堤防上の集落が、近世から現代に至る中・下流域の主な景観を形作っていると考えられています。今回の調査では、沖積低地の自然堤防上及び台地縁辺に農家が分布していることが分かりました。

また、矢作橋が架けられ、旧東海道の交通の要衝として栄えた矢作村は、かつて道幅が4間と広く、往還全長は14町35間で家数は250軒以上ありました。往時の風情を表すように、旧東海道沿いに一般住宅・離れ・町家が分布していることが分かります。



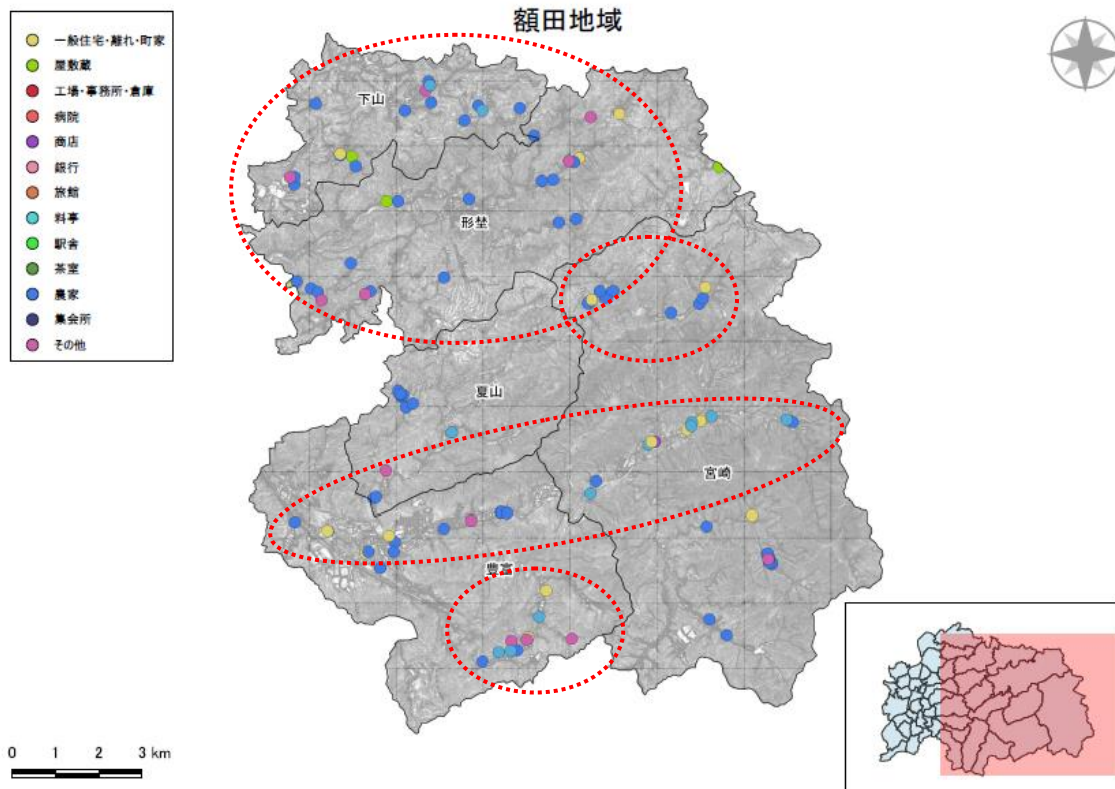
六ツ美地域

矢作地区同様、矢作川の氾濫原で、肥沃な沖積平野が広がる六ツ美地域は、古代より自然堤防上に集落が形成されてきました。一方の農地は、江戸初期に完成した占部用水や、明治末期から大正時代に行われた耕地整理と用水路整備により二毛作が可能な水田に生まれ変わりました。それに伴い米の裏作として菜種が導入され、昭和初期には菜種栽培で全国一位の生産量を誇るまでに至ります。地域には農家や屋敷蔵が分布しています。また、明治 44 年に西尾軽便鉄道が開通し中島駅が置かれた周辺は、昭和初期に約 140 件の商店が軒を連ねるなど賑わいをみせました。現在もその周辺に商店や一般住宅・離れ・町家などが分布していることが分かります。



額田地域

後期旧石器時代の遺跡や、縄文・弥生遺跡を有し、鎌倉・室町時代中頃まで足利氏やその家臣の領地が多く、戦国時代には奥平氏の勢力圏として日近の戦いや雨山の戦い、滝山の戦いの舞台となった額田地区は、近代は林業や養蚕などにより栄えました。創立が平安時代や南北朝時代に遡る古刹や、日近城跡や滝山城跡等の中世城館跡を多く残す額田地域は、地域の大部分を森林が占め、乙川・男川を中心として河川沿いに集落が点在し、現在街道に沿うように農家が地域全域に分布しています。茅葺屋根の農家などが、山里の特徴的な景観を形成しています。



4 市民・学区・所有者・団体アンケート・ヒアリング調査

(1)市民アンケート調査 調査手法

期間:令和2年1月15日(水)～令和2年1月31日(金)

目的:岡崎の歴史文化への認識調査や、身近な歴史文化資産や大切にしたいものの調査、歴史文化資産の認知度や親しむ機会についての調査のため、アンケート調査を実施しました。

手法:市内に在住している18歳以上の市民から2,500名を無作為抽出し、郵送にてアンケート調査を行いました。

成果:有効回答数1,061件(回収率42.4%)

調査結果概要

★マークの問いは複数回答可

歴史文化への関心

関心があるが27.9%、どちらかといえば関心があるが47.5%を占め、関心を持つ市民が多いことが表れています。

文化財や歴史的資産から受けるイメージ ★

地域の歴史を語るものが62.6%、未来へ伝えていくべきものが59.9%など高い割合を持つ一方、魅力的な街の形成や観光・産業振興に重要なものも45.8%あり、地域の資産としても重要視されていることがわかります。

岡崎の歴史文化と聞いて思い浮かぶもの ★

岡崎城や家康公が93.6%、神社仏閣が47.6%となり、岡崎の地域特性に即した結果となっています。観光に関わる歴史文化資産の印象度が高い一方、地域で伝わる祭りや行事、伝統芸能なども31.9%であり、豊富な資産が地域に根差し、人々が愛着を持っていることがうかがえます。

身近な文化財・風習・大切にしたいもの ★

社寺・祠等が31.9%と最も多く、昔から伝わる祭りや年中行事も22.5%と高い一方、特にないが21%、無回答が29.8%あり、岡崎の歴史文化に愛着があるものの、身近な文化財・風習・大切にしたいものへの認識が希薄になっている状況が浮かび上がります。

行ったことや見たことがある文化財・歴史的な資産 ★

岡崎城、大樹寺、六所神社、伊賀八幡宮、八丁味噌蔵などが高い割合となりました。一方、本市の管理する文化財で低い傾向があり、活用や周知への課題が見られます。

文化財や歴史文化資産に接する機会 ★

観光・旅行が56.1%、年中行事等のイベントが41.1%、テレビ・ラジオの番組が37.3%と高いほか、学校の授業や行事も21.1%であり、重要な接点となっていることが分かります。

岡崎市の取り組みで知っているもの ★

ゲンジボタルの保護増殖と岡崎城跡整備が最も多く次いで旧本多忠次邸となっています。一方、保存修理支援や発掘調査などの他業務は低く、市民の認知度が低いことが分かります。

保存・活用の方向性で重要だと思うもの ○は2つまで

次世代への継承が 59.8%と最も高く、郷土愛の醸成 30.4%、地場産業の活性化 25.3%、にぎわい創出 21.5%が続きます。歴史文化資産の保存継承を柱として都市魅力増進や地域活性化に資することが求められています。

どのような取り組みへ協力できますか ○は3つまで

イベントや祭りへの参加が 58.8%のほか、清掃活動や管理も 21.1%であり、参画意向が高い傾向が分かります。

岡崎市の文化財や歴史的な資産に関するアンケート調査

日頃から本市の文化財行政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

岡崎市では、文化財や歴史的な資産の保存活用の方針を定め、地域社会全体での文化財の継承を図るため、「岡崎市文化財保存活用地域計画」の策定を進めています。このアンケートでは、みなさまの身の回りの大切にしたいもの、残したい文化や風習、本市の重要な資産である文化財についてみなさまのお考えをおたずねし、策定の参考にさせていただければと考えております。

お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年1月 岡崎市教育委員会

【ご回答についてのお願い】

- ・この調査は、市内在住の18歳以上の皆さまの中から無作為に2,500名の方々を選ばせていただき、お送りしています。質問には、できる限り封筒の宛名のご本人がお答えください。
 - ・回答は、該当する番号に○印をつけてお答えください。
質問により「○は1つ」「○は3つまで」など回答数を指定しています。
 - ・ご回答いただきましたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、無記名のまま、**令和2年1月31日（金）までに**ポストへ投函してください。
- ご不明な点は、お気軽に下記までお問合せください。

お問合せ先：岡崎市教育委員会社会教育課 文化財係
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
TEL：0564-23-6177 FAX：0564-23-6643

※この調査では、市内の指定文化財のほか、未指定のものも含めた幅広い歴史的・文化的なものについて、皆様のお考えをお聞かせ願えればと思っております。

【文化財・歴史的な資産の例】

歴史的な建物、遺跡、神社仏閣、お祭り、伝統工芸、地域に伝わる伝承、生活習慣など

問1 あなたは、岡崎の歴史文化に誇りや愛着、魅力を感じていますか。(○は1つ)

- 1. 感じている
- 2. どちらかといえば感じている
- 3. どちらかといえば感じていない
- 4. 感じていない

問2 あなたは、歴史文化に関心がありますか。(○は1つ)

- 1. 関心がある
- 2. どちらかといえば関心がある
- 3. どちらかといえば関心がない
- 4. 関心がない

問3 あなたが、文化財や歴史的な資産から受けるイメージを教えてください。(複数回答可)

- 1. 地域の歴史を語るもの
- 2. 地域の誇りや愛着、人と人との繋がりを育むもの
- 3. 貴重で守るべきもの
- 4. 未来へ伝えていくべきもの
- 5. 知的好奇心や探求心を刺激するもの
- 6. 魅力的なまちの形成や、観光・産業振興に重要なもの
- 7. 身近に感じない
- 8. 価値がよくわからない・難しい印象
- 9. 未来へ伝える意義を感じないもの
- 10. 開発の邪魔になるもの
- 11. 金銭的に負担になるもの
- 12. その他(具体的に:)

問4 岡崎の歴史文化と聞いて思い浮かぶものに○をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 古墳などの遺跡や史跡、出土物 | 2. 岡崎城や徳川家康 |
| 3. 幕末から昭和初期頃の近代建築 | 4. 歴史的なまちなみ・街道 |
| 5. 神社仏閣 | 6. 地域で伝わる祭り、行事、伝統芸能 |
| 7. 伝統工芸品や絵画、仏像 | 8. 伝統産業や製造技術 |
| 9. 古文書や書籍、典籍 | 10. 地域に残る生活習慣や言い伝え |
| 11. 歴史上有名な出来事や人物 | 12. 天然記念物 |
| 13. その他(具体的に:) | |

問5 あなたにとって身近な文化財、風習、大切にしたいもの等をお教えてください。

1. 社寺・祠等	（名称：	）
2. 民家	（名称：	）
3. 石造物	（名称：	）
4. 絵画・彫刻・工芸品	（名称：	）
5. 古文書・歴史資料等	（名称：	）
6. 昔の衣食住や生産、行事など	（名称：	）
7. 昔から伝わっている祭りや年中行事	（名称：	）
8. 遺跡・古墳	（名称：	）
9. 天然記念物	（名称：	）
10. 庭園・名勝地	（名称：	）
11. 歴史的な街なみ・地域に残る景観など	（名称：	）
12. その他	（名称：	）
13. 特になし		

問6 あなたが行ったことや見たことがある文化財、歴史的な資産に○をつけてください。
（複数回答可）

1. 岡崎城	2. 大樹寺	3. 岡崎城下二十七曲り
4. 滝山寺・滝山東照宮	5. 六所神社	6. ハ丁味噌蔵
7. 岡崎信用金庫資料館	8. 旧本多忠次邸	9. 伊賀八幡宮
10. 法蔵寺	11. 北野麁寺跡	12. 松應寺
13. 岡崎のホテル	14. 藤川のまつ並木	15. 滝山寺鬼祭り
16. 北山湿地	17. 大嘗祭悠紀斎田	18. 万足平の猪垣
19. 旧額田郡公会堂及物産陳列所	20. 真宮遺跡	21. 富田家住宅木南舎・土蔵
22. 岡崎城下三大祭り（菅生祭・岡崎天満宮例大祭・能見神明宮大祭）		
23. 天恩寺		
24. その他（具体的に： _____）		

問7 あなたが文化財や歴史的な資産に接するのはどのような機会ですか。（複数回答可）。

1. 観光・旅行	2. 年中行事等のイベント
3. 学校の授業や行事	4. 地域で行われる学習会・見学会
5. テレビやラジオの番組	6. 博物館等の文化施設
7. インターネット、SNS	8. 読書
9. 関心はあるが機会はありません	10. 関心も機会もほとんどない
11. その他（具体的に： _____）	

(複数回答可)

-)

ですか。(○は2つまで)

-)

きると思いますか。(〇は3つまで)

-)

ご自由にお書きください。

--

あなたのことについて

問 12 あなたのことについておたずねします。各項目について、当てはまるものの番号に○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

①【性別 ※自認する性別でも結構です】

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

②【年齢】

- | | | | |
|----------------|--------|----------|--------|
| 1. 10代(18~19歳) | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

③【地域(カッコ内は小学校区)】

- | |
|---|
| 1. 中央地域(梅園・根石・井田・愛宕・広幡・連尺・六名・三島・亀美丘・常磐南・常磐東・常磐) |
| 2. 岡崎地域(羽根・小豆坂・城南・岡崎・福岡・上地) |
| 3. 大平地域(男川・美合・緑丘・生平・秦梨) |
| 4. 東部地域(竜谷・藤川・山中・本宿) |
| 5. 岩津地域(恵田・岩津・大樹寺・大門・奥殿・細川) |
| 6. 矢作地域(矢作東・矢作北・北野・矢作西・矢作南) |
| 7. 六ツ美地域(六ツ美中部・六ツ美北部・六ツ美西部・六ツ美南部) |
| 8. 額田地域(豊富・夏山・宮崎・形埜・下山) |

④【岡崎市での居住年数】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 10年未満 |
| 3. 10年以上 20年未満 | 4. 20年以上 30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

⑤【地域における活動への参加】

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ときどき参加している | 3. 参加していない |
| 4. 活動が行われていない | | |

⑥【文化財や歴史的な資産の保存・活用活動への参加】

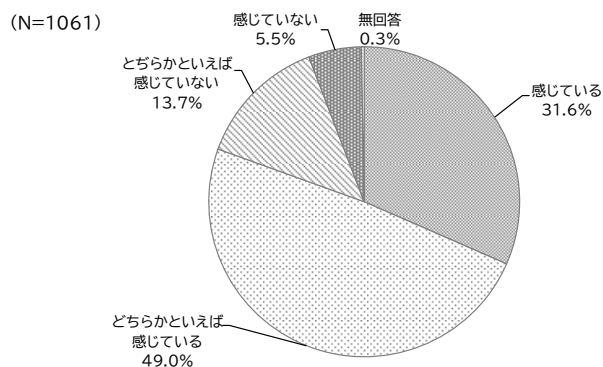
- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. ときどき参加している | 3. 参加していない |
| 3. 活動が行われていない | | |

このアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和2年1月31日(金)までに
ポストへ投函してください。(切手は不要です。)

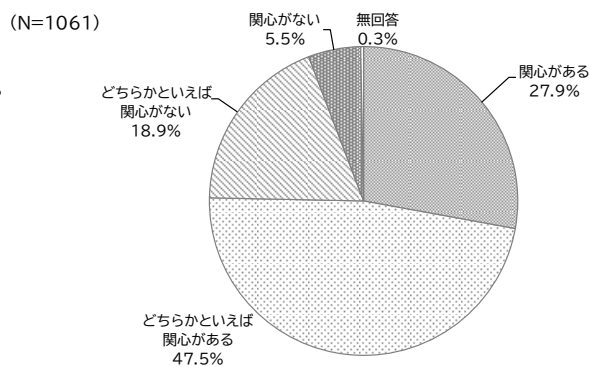
ご協力ありがとうございました。

(2)市民アンケート調査 調査結果

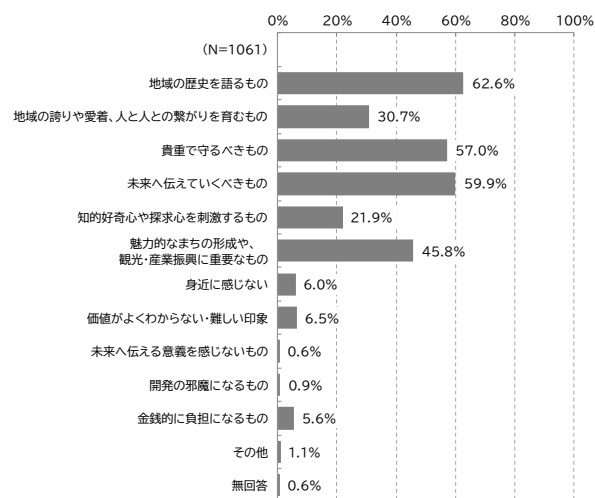
問1 あなたは、岡崎の歴史文化に誇りや愛着、魅力を感じていますか。(○は1つ)



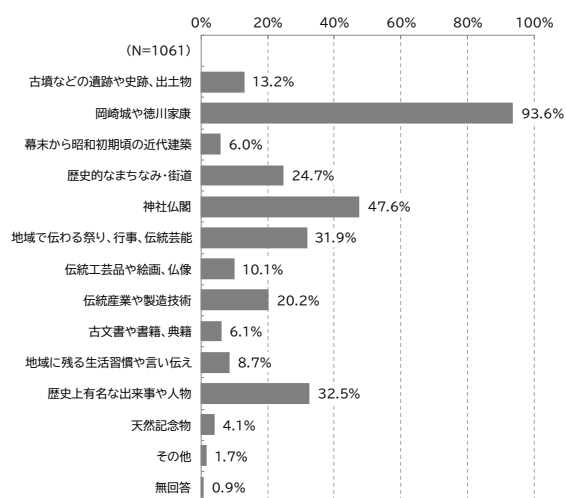
問2 あなたは、歴史文化に関心がありますか。(○は1つ)



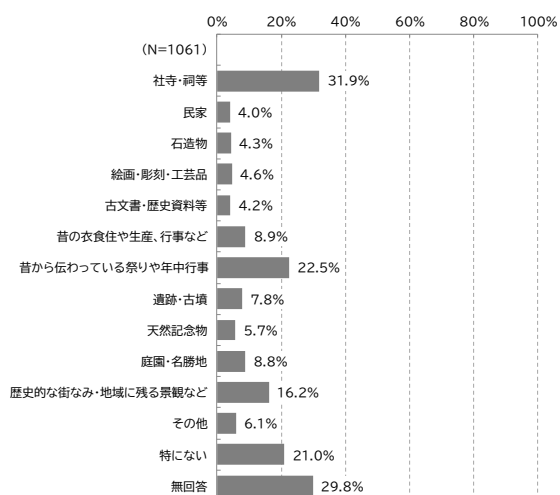
問3 あなたが、文化財や歴史的な資産から受けるイメージを教えてください。(複数回答可)



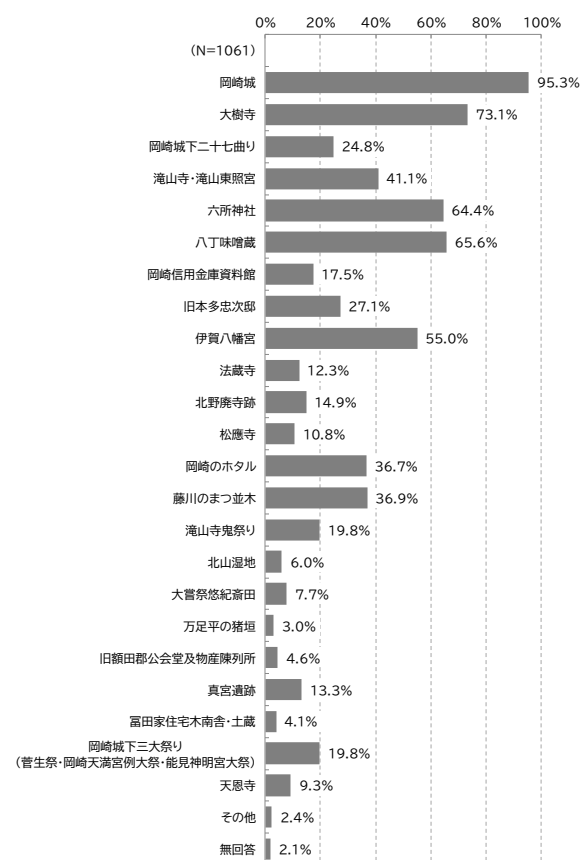
問4 岡崎の歴史文化と聞いて思い浮かぶものに○をつけてください。(複数回答可)



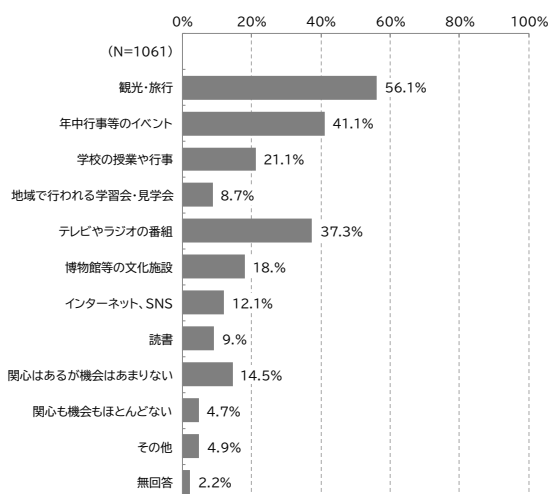
問5 あなたにとって身近な文化財、風習、大切にしたいもの等をお教えてください。



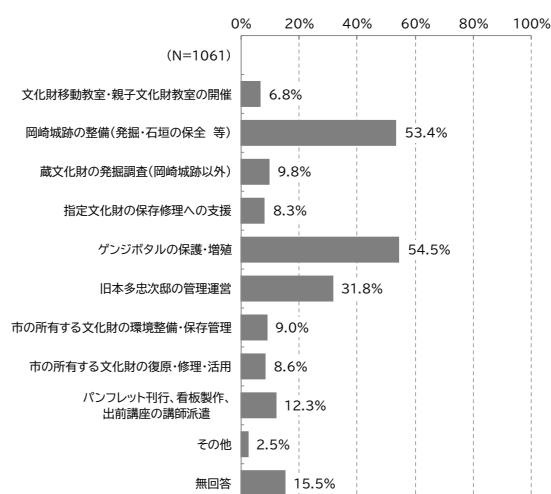
問6 あなたが行ったことや見たことがある文化財、歴史的な資産に○をつけてください。(複数回答可)



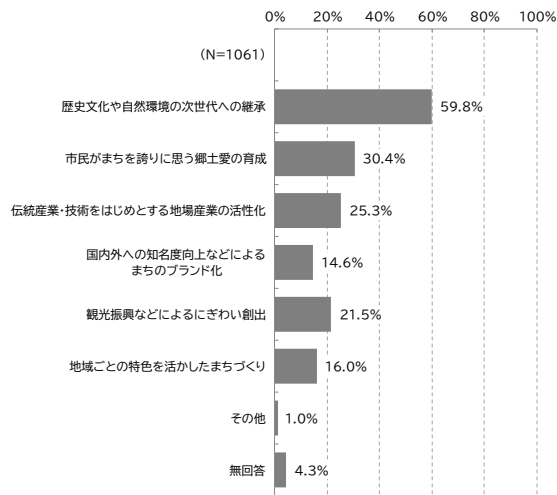
問7 あなたが文化財や歴史的な資産に接するのはどのような機会ですか。(複数回答可)



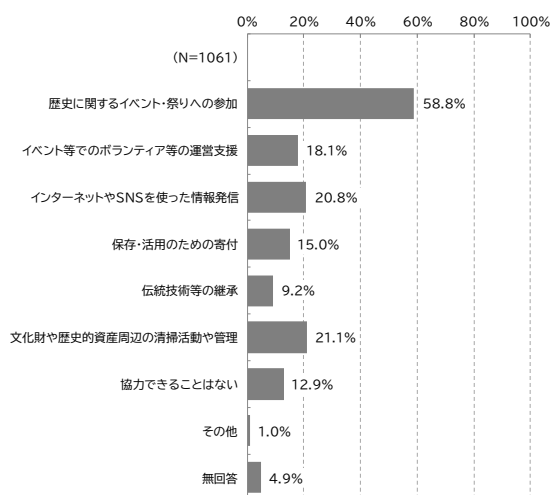
問8 岡崎市の文化財に関わる取組について、知っているものに○をつけてください。(複数回答可)



問 9 岡崎市の文化財や歴史的な資産の保存・活用の方向性について、重要だと思うものはなんですか。(○は2つまで)



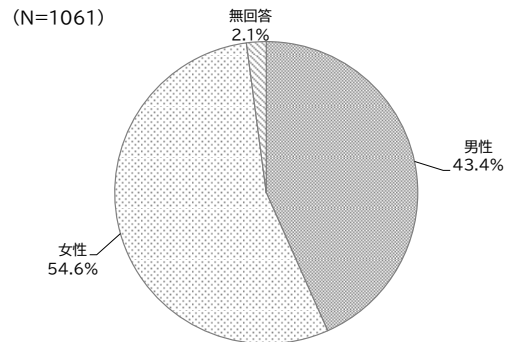
問 10 文化財や歴史的な資産の保存・活用のために、どのような取組であれば、あなたは協力できると思いますか。(○は3つまで)



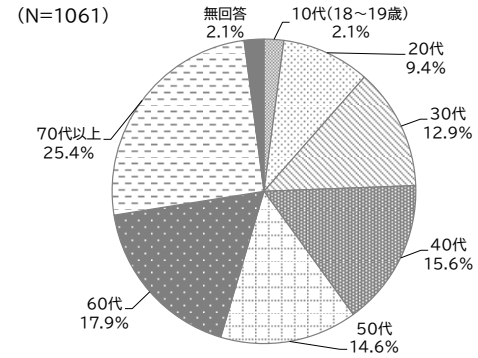
問 11 本市の文化財や歴史的な資産を活用したまちづくりに関する提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。

主な意見（一部抜粋）
今の活動がもっと公知になるように今の情報発信媒体（現在使用されている媒体）だけでなく、新しく岡崎市に転居してきた人達が知れるような情報発信をすると良いと思う。
昔から伝承している行事等を、若い人達に説明等、機会を2～3年に1回位、イベントの前に説明会等を実施して広く理解を求めることが良いと考えます。
市外からの観光客を増やし、岡崎を有名にする。
岡崎はやっぱりお城。バリアフリーにもしたいけど、今のコンクリート無機質な建物でなくもう少し木とかにしたものが理想です。アニメとのコラボ、好きです。ファンは多く遠くからも来られるのでこれからも期待しています。

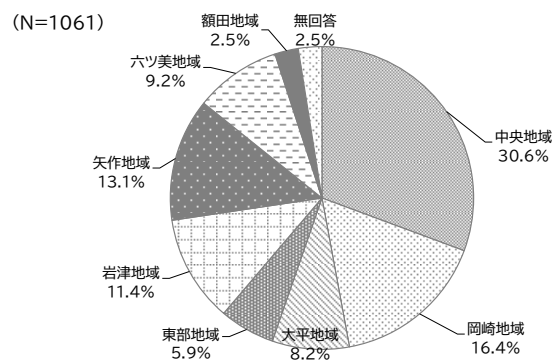
問 12 ① 性別



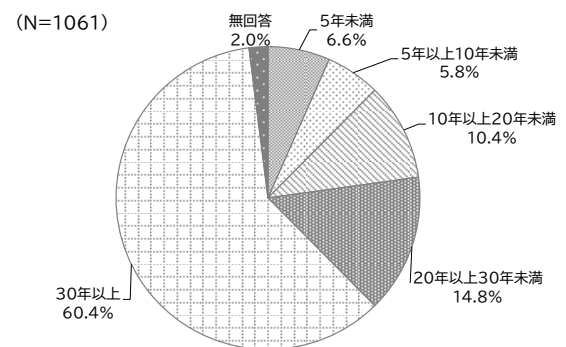
問 12 ② 年齢



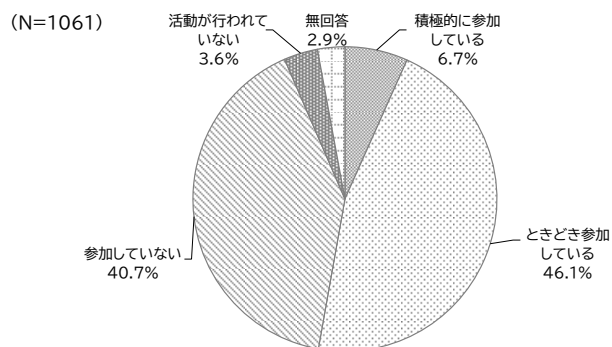
問 12 ③ 地域



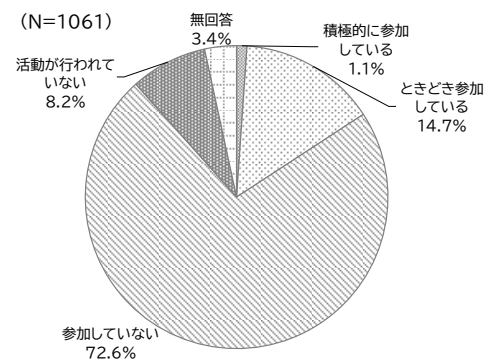
問 12 ④ 居住年数



問 12 ⑤ 地域における活動への参加



問 12 ⑥文化財や歴史的な資産の保存・活用活動への参加



(3)学区総代会長アンケート調査 調査手法

期間:令和2年1月20日～令和2年2月7日(金)

目的:地域で保存・活用が図られる歴史文化資産の調査や、課題及び支援策への意向の調査、市の施策への意向調査のため、アンケート調査を実施しました。

手法:市内47小学校区の総代会長を対象に、郵送にてアンケート調査を行いました。

対象となる小学校区

中央地域

梅園学区	根石学区	井田学区
愛宕学区	広幡学区	連尺学区
六名学区	三島学区	竜美丘学区
常磐南学区	常磐東学区	常磐学区

岡崎地域

羽根学区	小豆坂学区	城南学区
岡崎学区	福岡学区	上地学区

大平地域

男川学区	美合学区	緑丘学区
生平学区	秦梨学区	

東部地域

竜谷学区	藤川学区	山中学区
本宿学区		

岩津地域

恵田学区	岩津学区	大樹寺学区
大門学区	奥殿学区	細川学区

矢作地域

矢作東学区	矢作北学区	北野学区
矢作西学区	矢作南学区	

六ツ美地域

六ツ美中部学区	六ツ美北部学区	六ツ美西部学区
六ツ美南部学区		

額田地域

豊富学区	夏山学区	宮崎学区
形埜学区	下山学区	

岡崎市の文化財や歴史的な資産に関するアンケート調査

日頃から本市の文化財行政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

岡崎市では、文化財や歴史的な資産の保存活用の方針を定め、地域社会全体での文化財の継承を図るため、「岡崎市文化財保存活用地域計画」の策定を進めています。

市制施行 100 周年の際、岡崎まちものがたりでご紹介いただきました地域で大切にしているものや、その他にも学区で大切に受け継いでいる文化や風習、次世代へ守り伝えたいものについて、幅広く本アンケートにてお教えいただけますと幸いです。

アンケートでお教えいただいた文化財や、みなさまより伺ったお考えを、計画策定の参考とさせていただきたいと考えております。お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

令和 2 年 1 月 岡崎市教育委員会

【ご回答についてのお願い】

- ・このアンケートは、47 学区総代会長の皆さまにお送りしています。同封いたしました各学区「まちものがたり」を参考に、お答えいただけますと幸いです。
- ・回答は、該当する番号に○印をつけてお答えください。
質問により「○は 1 つ」「○は 3 つまで」など回答数を指定しています。
市の指定文化財・未指定文化財問わず、幅広くお書きください。
- ・ご回答いただきましたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま、
令和 2 年 2 月 7 日（金）までにポストへ投函してください。

ご不明な点は、お気軽に下記までお問合せください。

お問合せ先：岡崎市教育委員会社会教育課 文化財係
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目 9 番地
TEL：0564-23-6177 FAX：0564-23-6643

※この調査では、市内の指定文化財のほか、未指定のものも含めた幅広い歴史的・文化的なものについて、皆様のお考えをお聞かせ願えればと思っております。

【文化財・歴史的な資産の例】

歴史的な建物、遺跡、神社仏閣、お祭り、伝統工芸、地域に伝わる伝承、生活習慣など

問 1 学区のお名前をご記入ください。

() 学区

問 2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。

また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

活動 番号	1. 清掃・維持管理	2. 祭礼・行事の継承	3. 用具補修・新調
	4. 修理・修繕	5. 施設等の整備	6. 調査・冊子等の製作
	7. 広報・普及活動	8. 保存会等の組織	9. イベント開催
	10. その他（具体的に：)		

類別	名称	活動番号
※ 記載例	旧本多忠次邸	1, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
社寺・祠等		
民家		
石造物		
絵画・彫刻 ・工芸品		
古文書・ 歴史資料等		
昔の衣食住や 生産、行事など		
昔から伝わる 祭りや年中行事		
遺跡・古墳		
天然記念物		
庭園・名勝地		
歴史的なまちなみや 地域に残る景観など		
その他		
特になし		

問3 保存・活用のため、今後行っていきたい新たな展開等があれば教えてください。

問4 地域の文化財や歴史的な資産の保存・活用について、課題と感じていることはありますか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 地域の歴史的資産の掘り起こしや共有 | 2. 地域や所有者の意識づくり |
| 3. 周知、PR | 4. 後継者や担い手の確保 |
| 5. 保存・活用の技術や知識の取得 | 6. 保存・活用に関する相談窓口、相談方法 |
| 7. 保存・活用に必要な資金の確保 | 8. 修復のための職人の確保 |
| 9. 防災・防犯対策 | 10. その他(具体的に:) |

問5 文化財や歴史的な資産の保存に対して望む支援はありますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 保存状態の訪問診断 | 2. 管理・修理の講習会等の開催 |
| 3. 管理・修理の訪問指導 | 4. 職人・専門家の紹介 |
| 5. 修理費用の補助 | 6. 保存に関する情報発信 |
| 7. 保存に関する情報交換の場の提供 | 8. 周辺地域の景観形成の支援 |
| 9. 文化財や歴史的な資産の保管先の情報提供 | 10. 特にない |
| 11. その他(具体的に:) | |

問6 文化財や歴史的な資産の活用に対して望む支援はありますか。(複数回答可)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 活用に関する講習会の開催 | 2. 活用に関するアドバイス |
| 3. 活用を支援する団体・組織の情報提供 | 4. 活用をサポートするボランティアの派遣 |
| 5. 活用のためのPR支援 | 6. 活用にかかる費用の助成 |
| 7. 活用に資する情報交換の場の提供 | 8. 展示場所・施設等の情報提供 |
| 9. 地域の意識を高める講演会・セミナー開催 | 10. 学校教育との連携 |
| 11. 特にない | |
| 12. その他(具体的に:) | |

問 7 今後、重点的に保存・活用に取り組んでいきたい文化財や歴史的な資産があれば、その名称と取組内容を教えてください。

名称	取組内容

問 8 地域にある歴史的なものや言い伝え、風習等をご自由にお書きください。

問 9 本市の文化財や歴史的な資産を活用したまちづくりに関する提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。

このアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、令和2年2月7日（金）までに
ポストへ投函してください。（切手は不要です。）

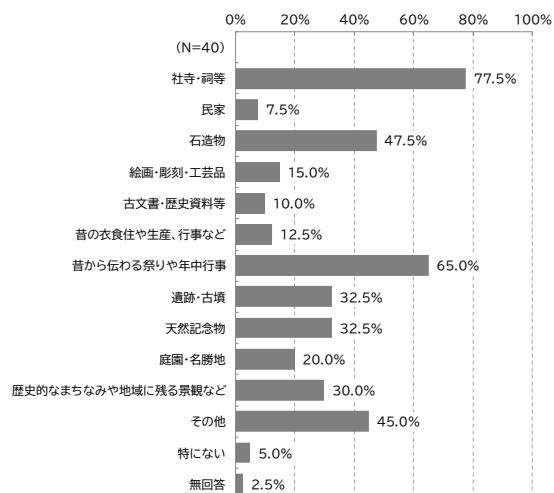
ご協力ありがとうございました。

(4)学区総代会長アンケート調査 調査結果

問1 学区のお名前をご記入ください。

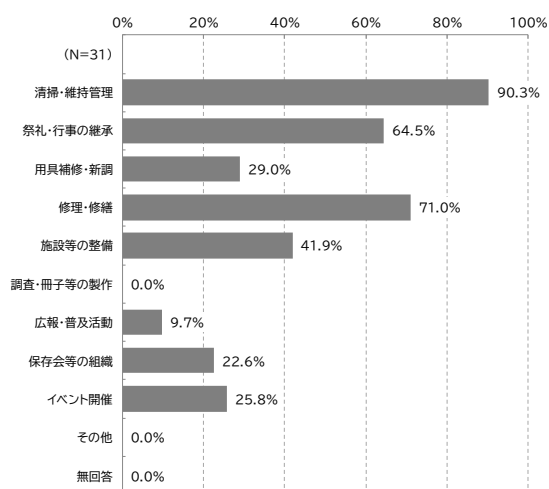
(省略)

問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。



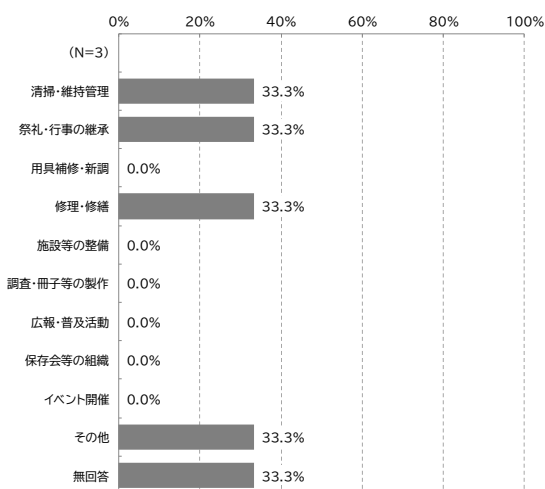
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(① 社寺・祠等)



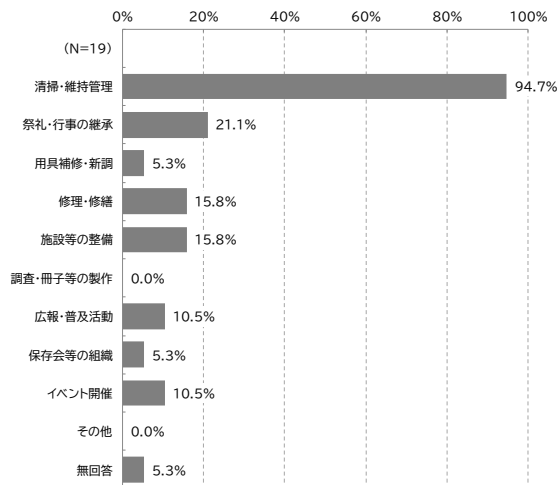
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(② 民家)



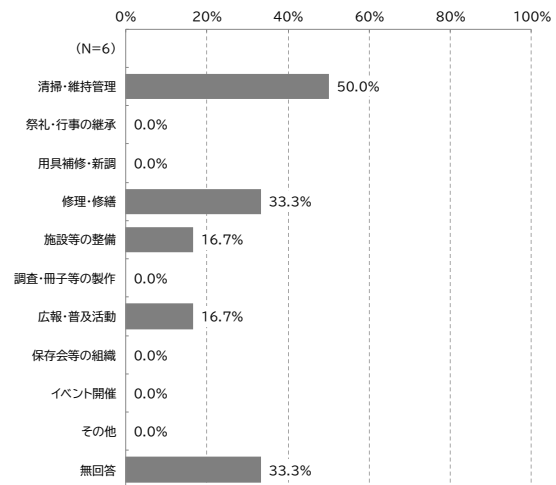
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(③ 石造物)



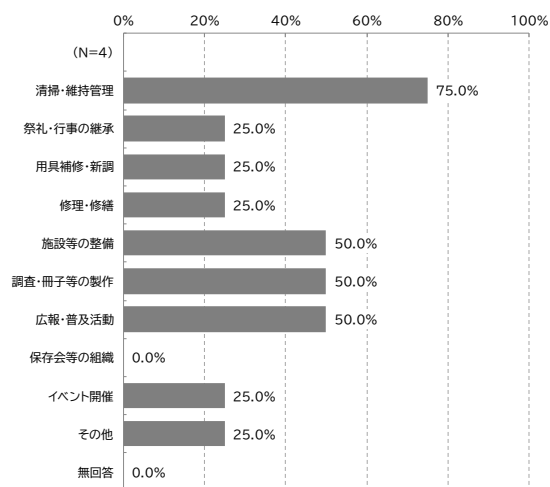
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(④ 絵画・彫刻・工芸品)



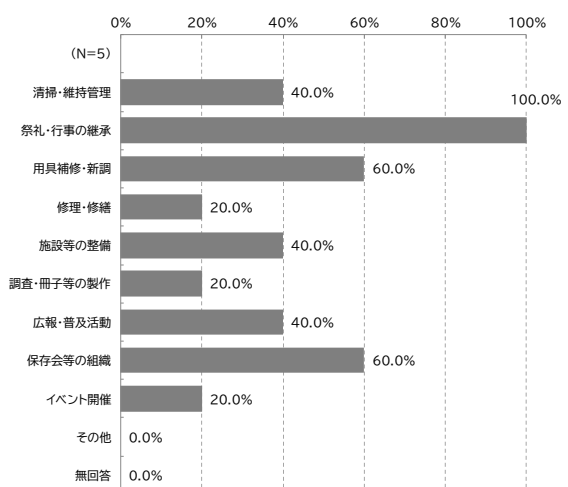
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑤ 古文書・歴史資料)



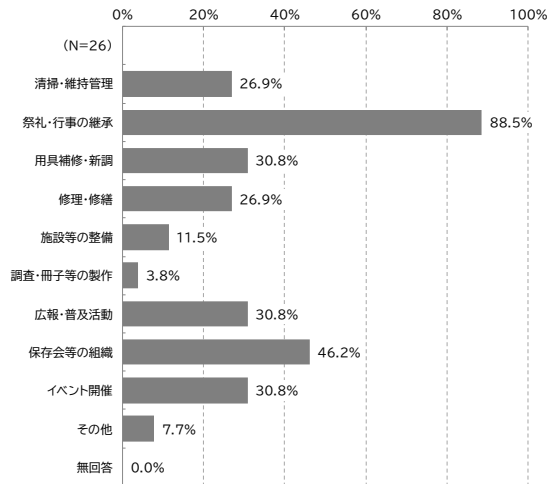
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑥ 昔の衣食住や生産、行事など)



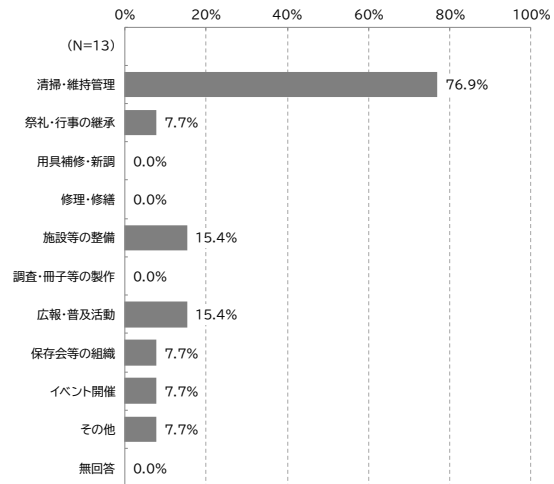
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑦ 昔から伝わる祭りや年中行事)



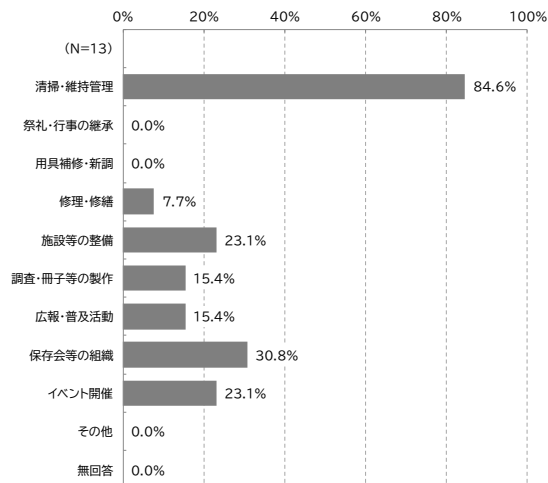
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑧ 遺跡・古墳)



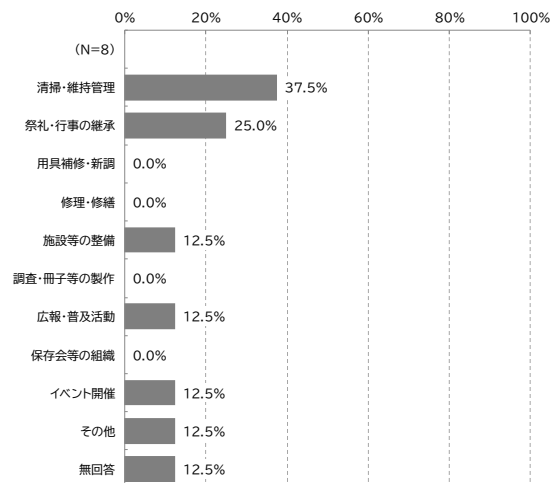
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑨ 天然記念物)



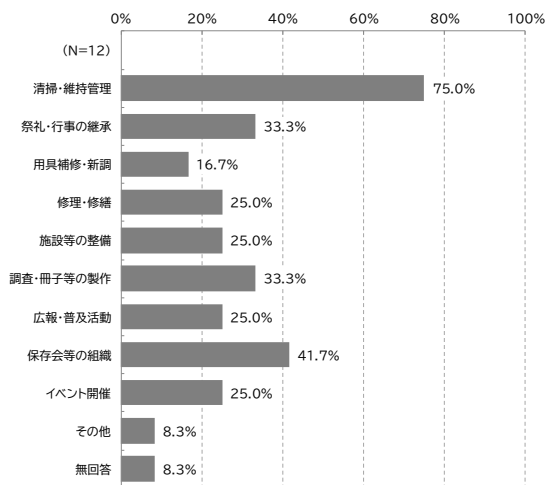
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のために行っている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑩ 庭園・名勝地)



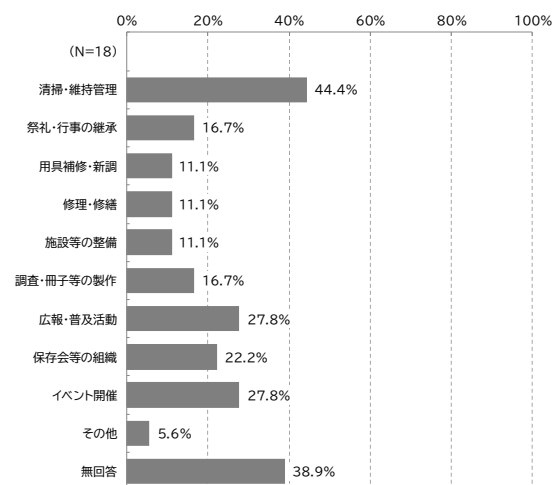
問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

(⑪ 歴史的なまちなみや地域に残る景観など)



問2 地域住民が中心となって保存・活用されている文化財や歴史的な資産として、どのようなものがありますか。具体的な名前を教えてください。また、保存活用のためにやっている活動について、記載例を参考に活動番号をご記載ください。

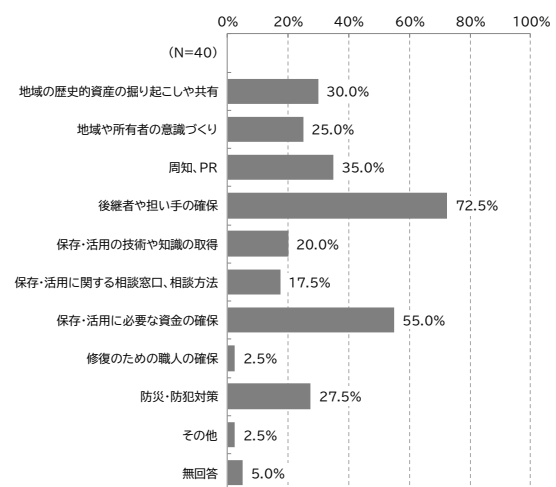
(⑫ その他)



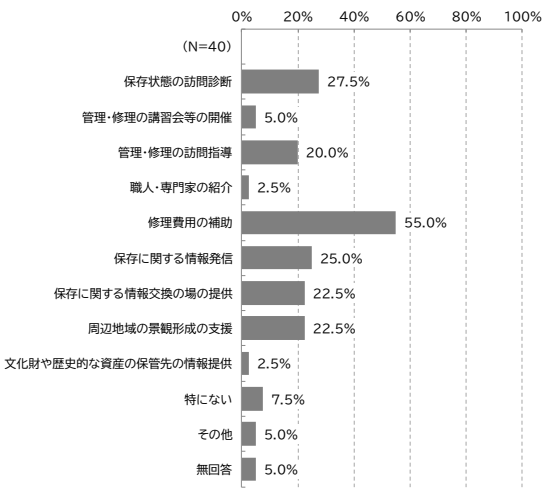
問3 保存・活用のため、今後行っていきたい新たな展開等があれば教えてください。

主な意見（一部抜粋）
保存については、所有者等の問題もあり、維持管理・修理等の費用もある程度補助が必要と思われる。
これからは、各々の町単独での維持管理が難しくなると思われるので、学区全体の資産、文化であるといった意識変革を推進していく。また、あわせて保存に向けた組織のあり方を検討する。
学区の文化財、歴史資産をPRするパンフレットの作成・配布を本年3月に予定している。

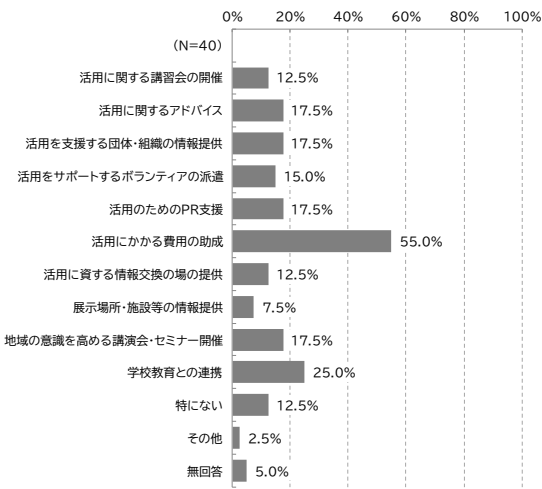
問4 地域の文化財や歴史的な資産の保存・活用について、課題と感じていることはありますか。（複数回答可）



問 5 文化財や歴史的な資産の保存に対して望む支援はありますか。（複数回答可）



問 6 文化財や歴史的な資産の活用に対して望む支援はありますか。（複数回答可）



問 7 今後、重点的に保存・活用に取り組んでいきたい文化財や歴史的な資産があれば、その名称と取組内容を教えてください。

主な意見（一部抜粋）
登録有形文化財ですが、現在耐震補強の工事中です。どのように公開されるか楽しみです。
伝統行事を継続してゆくため、寺の役員を庁内で順に決め行っている。
建築物の保存および周辺の木々の整備
専門家による調査価値づけ

問 8 地域にある歴史的なものや言い伝え、風習等をご自由にお書きください。

主な意見（一部抜粋）
姫ヶ城・胎蔵寺に伝わる悲恋物語
河合地区の「花まつり」が伝統行事として戦前より続けられている。
「美酒発祥の地」として酒人神社の歴史が「酒まつり」のPR活動を強化していきたい。

問 9 本市の文化財や歴史的な資産を活用したまちづくりに関する提案、期待、要望等があれば、ご自由にお書きください。

主な意見（一部抜粋）
文化財や歴史的な資産等、積極的にPRし、歴史的建造物を多く後世に残したい。
情報発信の場を作っていただければ。これまでの紙媒体だけでなく、動画等で紹介できる場（例：岡崎市まつりサイト）があれば投稿しやすいと思います。
公報への定期的掲載など、文化財等に関する情報発信の充実を。
地域の文化財や名所を巡る歩道を整備し、いつでもどこからでも歩きまわることのできることを望みます。

(5)ヒアリング調査 調査手法

期間:令和2年1月22日(水)～令和2年1月31日(金)

目的:歴史文化資産の保存・活用の内容調査や、現状と課題の調査、今後の展望の調査のため、文化財所有者・保存団体を対象としたヒアリング調査を実施しました。

手法:文化財の所有者・保存団体等(計27)へ職員が訪問し聞き取り調査を行いました。

調査対象

No.	指定	種別	文化財名	対象先	対象	実施日
1	市	史跡・天然記念物	藤川宿脇本陣跡 藤川のまつ並木	藤川まちづくり協議会	団体	1/14
2	市	史跡	猿投塚古墳	橋目中町明和クラブ	団体	1/24
3	国	天然記念物	岡崎ゲンジボタル発 生地	岡崎ゲンジボタル河合 保存会	団体	1/30
4	国	天然記念物	岡崎ゲンジボタル発 生地	生田螢保存会	団体	1/27
5	市	天然記念物	ゲンジボタル	鳥川ホタル保存会	団体	1/31
6	市	天然記念物	瓶井神社の大ケヤキ	美保睦会	団体	1/27
7	市	無形民俗文化財	大嘗祭悠紀斎田	悠紀の里サポーター会	団体	1/22
8	市	無形民俗文化財	デンデンガッサリ	デンデンガッサリ保存 会	団体	1/28
9	市	無形民俗文化財	夏山八幡宮火祭り	夏山八幡宮火祭り保存 団体	団体	1/28
10	市	無形民俗文化財	須賀神社祭礼山車 及び祭りばやし	須賀神社祭礼山車及び 祭りばやし保存会	団体	1/28
11	市	無形民俗文化財	山方手永御田扇祭り	山方手永御田扇祭り保 存会	団体	1/22
12	県	有形民俗文化財	万足平の猪垣	万足平を考える会	団体	1/31
13	未指定	史跡	西大平陣屋	大平西町史跡保存会	団体	1/27
14	国	建造物	六所神社本殿・幣殿・ 拝殿、神供所、楼門	六所神社	所有者	2/4
15	国	建造物	信光明寺観音堂	信光明寺	所有者	1/30
16	国	建造物	天恩寺仏殿	天恩寺	所有者	1/31
17	県	建造物	大樹寺伽藍	大樹寺	所有者	1/24
18	市	建造物	甲山寺護摩堂	甲山寺	所有者	1/30
19	市	史跡	松平広忠公御廟所	松應寺	所有者	1/29
20	市	有形民俗文化財	矢作三区祭礼山車	矢作三区	団体	1/29
21	国登録	建造物	日本福音ルーテル岡 崎教会教会堂	日本福音ルーテル教会	所有者	1/29
22	市	建造物	日吉山王社本殿	滝山東照宮	所有者	1/24
23	市	建造物	八幡宮本殿	八幡宮(土呂)	所有者	1/22
24	国	建造物	瀧山寺本堂・三門・木 造観音菩薩立像及び梵 天・帝釈天立像	瀧山寺	所有者	1/15
25	県	建造物	大川神明宮の舞台	大川神明宮	所有者	1/28

No.	種別	種別	文化財名	団体名	対象	実施日
26	国	建造物	瀧山寺本堂・三門・木造観音菩薩立像及び梵天・帝釈天立像	NPO 法人瀧山寺地区文化財を修復・整備する会	団体	1/23
27	市	無形民俗文化財	六ツ美悠紀斎田お田植えまつり	六ツ美悠紀斎田保存会	団体	1/31

岡崎市の歴史文化資産に関する団体ヒアリングシート

貴団体について

問1 貴団体について教えてください。

①【名称】

②【団体の特徴】

活動内容・人数・構成年齢等、貴団体の特徴をお答えください。

③【活動している地域の特徴】

「歴史的建造物が多い」「自然に囲まれている」等、活動されている地域の特徴をお答えください。

歴史文化資産の保存・活用に関する活動及び課題について

問2 地域で保存・活用されている歴史文化資産として、どのようなものがありますか。

「社寺・祠等」「民家」「祭りや年中行事」「天然記念物」等、歴史文化資産をお答えください。

問3 保存・活用のために、どのような活動を行っていますか。

「清掃・維持管理」「修理・修繕」「イベント開催」等、活動内容をお答えください。

問4 保存・活用について、課題と感じていることは何ですか。

「老朽化」「修理修繕にかかる費用」「後継者・担い手不足」等、課題についてお答えください。

問5 今後、重点的に取り組んでいきたい内容について教えてください。

「〇〇の保存・活用についても検討したい」等、重点的に取り組みたい内容をお答えください。

問6 歴史文化資産の保存・活用に取り組む理由や意義について、どのようにお考えですか。

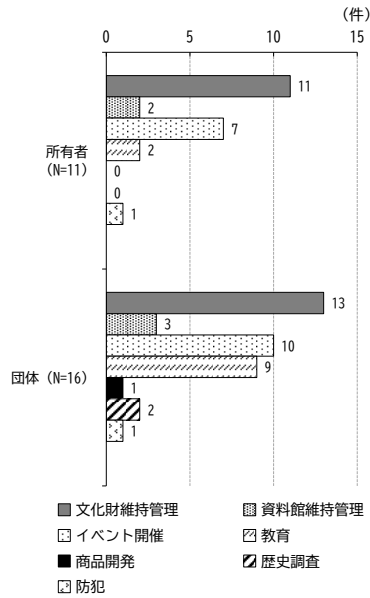
「市の歴史を後世に伝えることができる」等、取り組む理由や意義についてお答えください。

歴史文化資産の保存・活用に向けた取組について

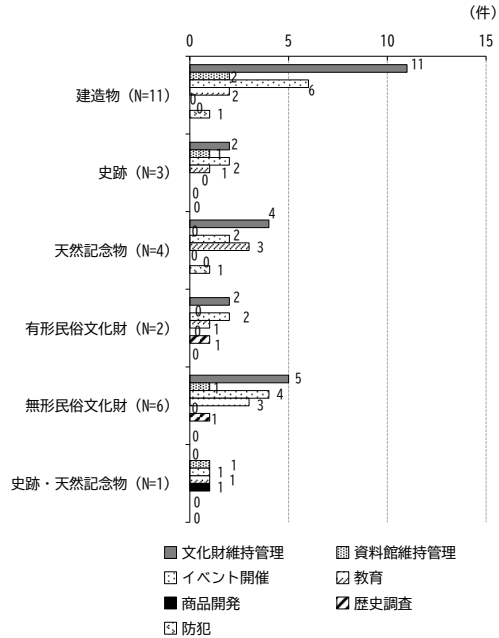
問7 歴史文化資産の保存・活用について、今後、市が力を入れて取り組むべきことは何だと思いませんか。

(6)ヒアリング調査 調査結果

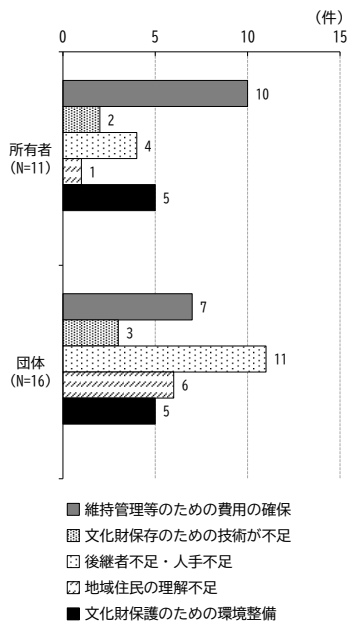
文化財の保護内容（所有者・団体別）



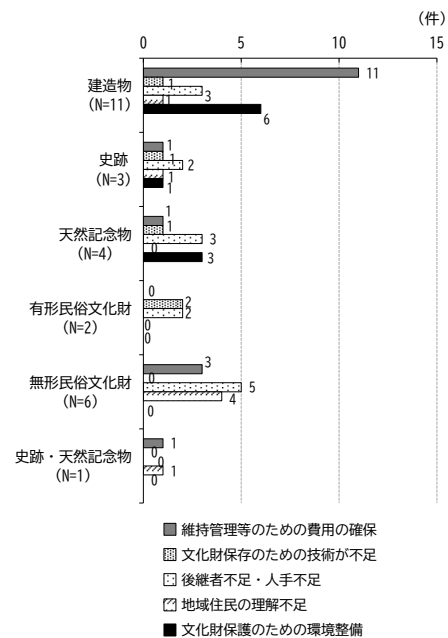
文化財の保護内容（所有者・団体別）



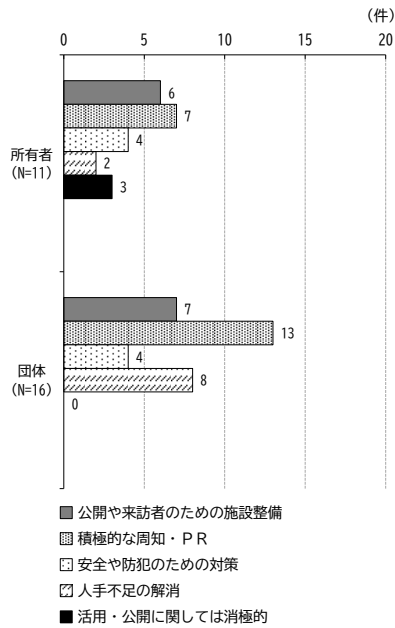
文化財の保存・継承に関する課題
(所有者・団体別)



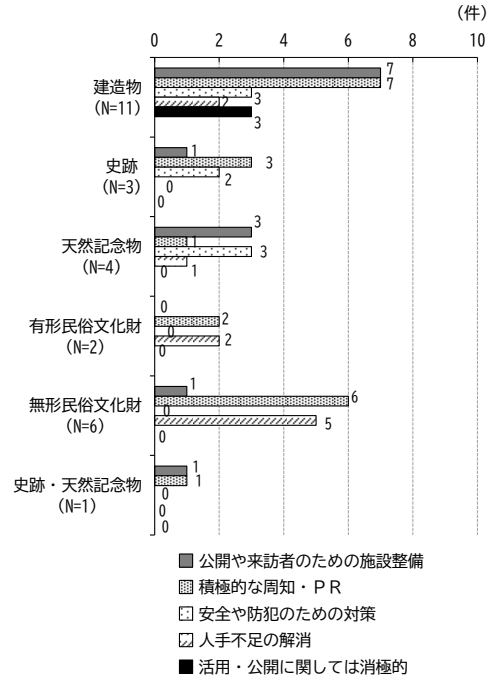
文化財の保存・継承に関する課題
(文化財の種別)



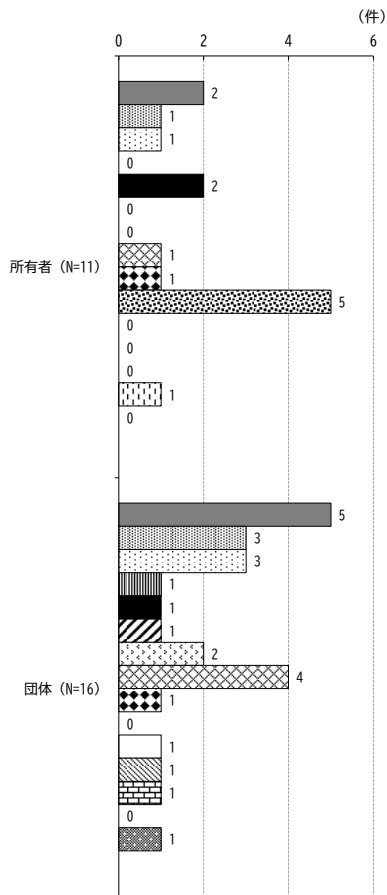
文化財の活用に関する課題
(所有者・団体別)



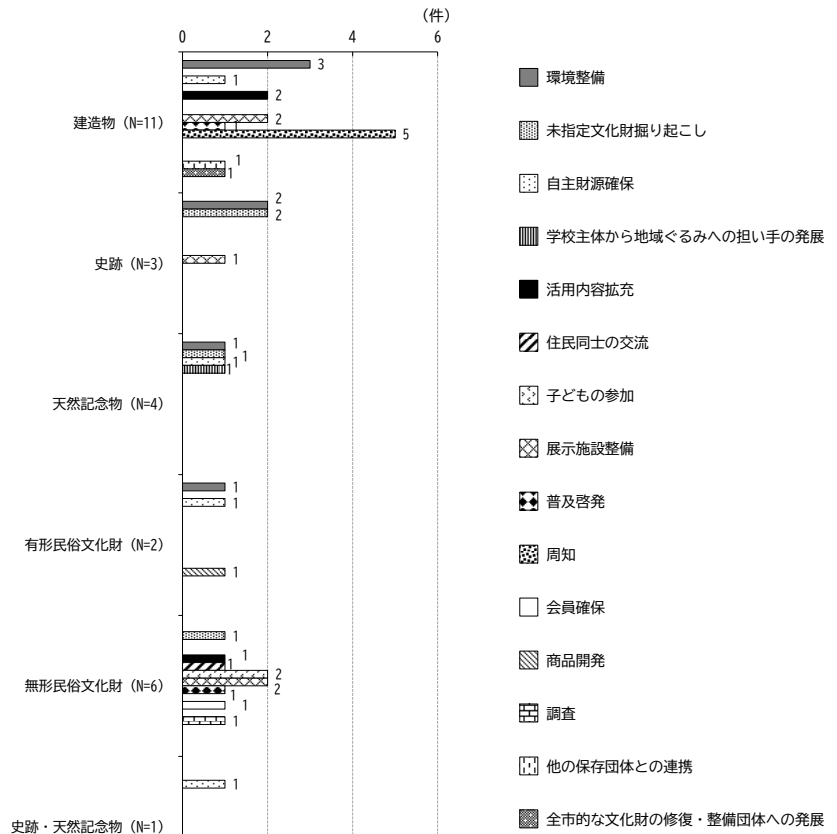
文化財の保存に関する課題
(文化財の種別)



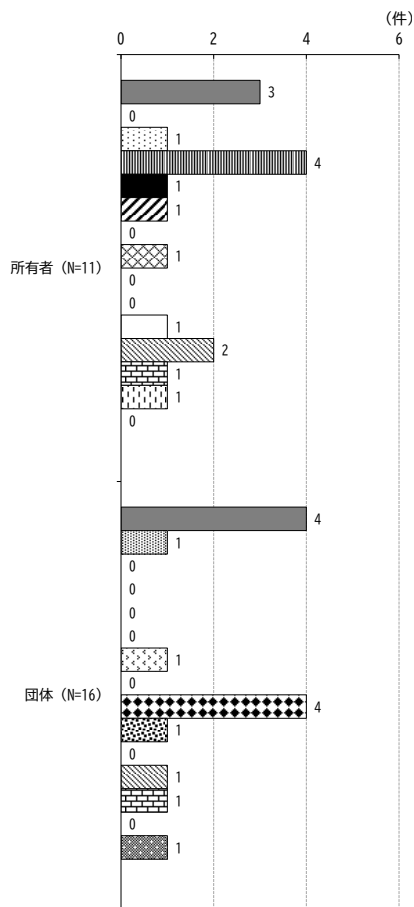
文化財の保存・活用に関する展望
(所有者・団体別)



文化財の保存・活用に関する展望
(文化財の種別)



文化財の保存・活用に関する要望等
(所有者・団体別)



文化財の保存・活用に関する要望等
(文化財の種別)

